

# 三重県の文化財保護

平成28年度



2018.3

三重県教育委員会

## 例 言

- 1 本書は、三重県教育委員会事務局社会教育・文化財保護課が平成 28 年度に実施した文化財保護事業をまとめたものである。
- 2 国史跡齋宮跡の発掘調査の詳細については、齋宮歴史博物館が年報として報告しているので、別途参照されたい。
- 3 市町指定文化財指定・解除及び文化財保護強調週間行事などは、市町教育委員会からの報告をもとに記載した。
- 4 本書記載の市町名・組織名は、各申請書等の記載名称を基本としている。

## 目 次

I 文化財の指定・登録	
1 県指定文化財の指定	1
2 県指定文化財の解除	14
3 国登録文化財の指定等	15
4 市町指定文化財の指定等	20
5 三重県文化財保護審議会	21
II 県実施の調査・保護事業	
1 特天カモシカ天然記念物食害対策事業	22
2 世界に誇る三重の文化財記録事業	23
3 世界遺産熊野古道保存管理事業	23
4 史 県内遺跡 発掘調査等事業	25
5 市内埋蔵文化財 地域の特色ある埋蔵文化財活用事業	25
6 重文 三重県齋宮跡出土品 美術工芸品保存修理事業	25
III 文化財補助事業等	
1 国庫補助事業	26
2 県費補助事業	37
3 民間団体による助成	40
IV 文化財の管理・普及	
1 登録審査	41
2 文化財の管理	42
3 国・県指定文化財に関する諸届等	50
4 文化財の公開・普及	54

【表紙 木造深沙大将立像】  
【裏表紙 三重県内国・県指定等文化財数】

# I 文化財の指定・登録

## 1 県指定文化財の指定

### (1) 彫刻

彫第 127 号 もくぞうじんじゃだいしょうりゅうぞう 木造深沙大將立像

1 軀

【告 示】三重県教育委員会告示第 4 号

(H29.2.17 発行三重県教育公報第 1732 号)

【指定日】平成 29 年 2 月 2 日

【所在地】鈴鹿市稲生西二丁目 8 番 16 号

【所有者】宗教法人 神宮寺

【法量・品質・形状】

総高 114.8 cm, 像高 104.7 cm

台座部幅 46.9 cm, 台座部奥 46.9 cm

一木造 彩色・針葉樹材

【年 代】平安時代後期 (10 世紀末～11 世紀前半)



頭髪を逆立て、目を大きく見開き、眉尻は吊り上り、下顎から牙 2 本を生やす。胸元のようらく瓔珞として、6 個のどくろ髑髏が連なる首飾りがあしらわれ、腹部中央には童子相の人面を彫出する。両膝上には獣面をあしらったはかま袴を着し、その上から腰布を巻く。顔を正面に向け、腰をわずかに右にひねり、左足を軽く外に踏み出して立つ。左手は斜め下方に真っ直ぐに伸ばして掌を前に立て、右手は肘を曲げて胸部の右横で掌を前にして立てる。

頭頂から台座まで針葉樹の一材より彫出し、これに右手先、左肩より先、左足先の各部材を寄せている。台座部は用材の丸太をほぼそのまま使用するが、うちくり内削は無い。表面は現状で素地を呈しており、彩色は下地を作らず素地にほぼ直接施したとみられる。全体の仕上げはのみ鑿跡を残し、特に右腕や背面、膝下には丸鑿の痕跡を明瞭に残す。全体的に怪異な姿に仕上げられており、重厚な印象を与える。

両手先、左足先は後補であり、鼻先にも小材を寄せる。現状では口に啣えている小蛇も後補とみられる。深沙大將に蛇を啣くわえる図像は知られず、むしろ蛇を手にする例が多いことから、本作もかつて蛇を手にしていた可能性がある。台座周辺を中心に虫損がみられ、背面からでんぶ臀部右寄りに目立つ干割れがある。左腕や両手は後補であるが、保存状態は全体的に比較的良好とみられる。

## 特徴

深沙大將は、玄奘三蔵がインドに渡った時に流砂の中より現れたと伝えられる護法神で、一説には多聞天の化身といわれる。大般若經の十六善神の上首として信仰されることが多い。現在、神宮寺本堂の須弥壇上に安置されているが、かつては伊奈富神社境内地にあった菩薩堂に安置されていたと伝える。深沙大將は、玄奘と対になる姿でイメージされることが多いが、本像は当初より独尊として安置されていたと考えられる。

一木造で内刳りを施さない構造は古様を残すが、衣文や姿勢にはやや硬直した表現がある。裾の衣文の特徴や頭部の法量をはじめ、憤怒表現や手足の筋肉表現の重厚さなどの諸特徴から、制作時期は10世紀末から11世紀前半ごろとみなされる。

平安時代にさかのぼる深沙大將像の作例は、本像のほか岐阜・横蔵寺像、福井・明通寺像（以上、国指定重要文化財）、大分・高瀬石仏像（国指定史跡）、香川・弥谷寺像など数例が知られるのみである。本像の姿は、岐阜・横蔵寺像や大分・高瀬石仏像などと並んで、図像的には『図像抄』などに説かれる唐本の系譜をひくと考えられ、本来は蛇を手にしていたとみられる。

本像の表面には荒々しい鑿痕が残されており、台座から頭頂までのほぼすべてを一材から彫出するだけでなく、台座には用材となった丸太の形を残す。これらは本像の造形上の大きな特徴である。本像の鑿痕を残す表現や丸太の形を活かした造形は、荒ぶる力を示そうとしたものと解釈される。なお、本像と同じく伊奈富神社から神宮寺に伝わる木造男神坐像（三重県指定有形文化財）にも鑿痕を残す表現が認められる。

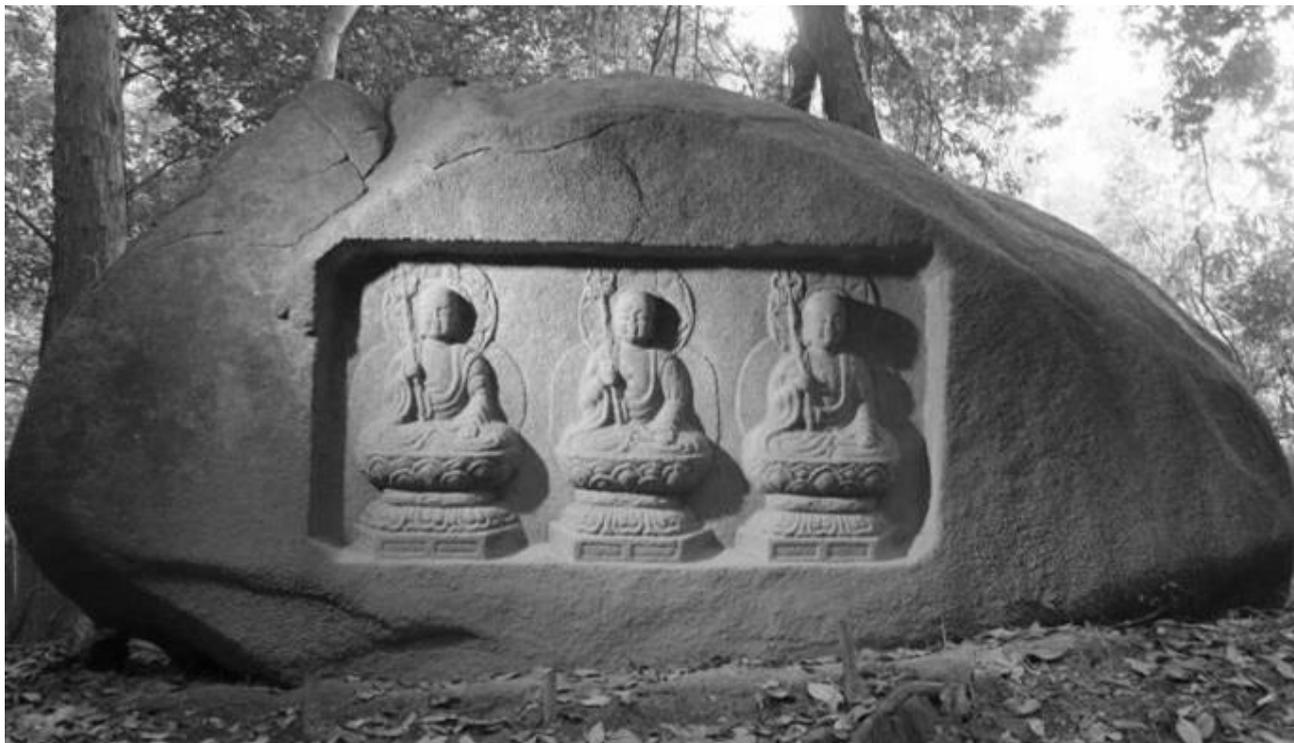
## 評価

本像は、平安時代にさかのぼる数少ない深沙大將の作例のひとつとして、全国的に見ても貴重な作例である。図像的には岐阜・横蔵寺像や大分・高瀬石仏像などと並び、平安時代に流布したと伝える唐本の系譜をひく。また表面に鑿痕を残すこと、頭頂から台座までを一続きの丸太から彫出し、台座に丸太の形状をそのまま活用することは、本像の著しい特徴であり、今後、平安期の深沙大將への信仰の様相を明らかにする手がかりとなる可能性を秘めている。

本像は、神宮寺に伝わる男神坐像との制作年代が近い。また、伊奈富神社境内地の作庭にみる大規模整備と造像が概ね期を一にする点でも、菴芸郡やその周辺を含めた古代～中世期の地域史を語るうえでも重要である。

以上のように、本県の彫刻史、文化史上からみても意義のある資料であり、題材や制作技法のうえでも顕著な特異性を示している。また、造像と地域開発からみた当該地域史の特徴を示すうえでも、本像の存在は重要であると考えられる。

よって、県有形文化財（彫刻）として指定し、今後も万全の保護を図る必要がある。



- 【告 示】三重県教育委員会告示第 4 号 (H29.2.17 発行三重県教育公報第 1732 号)  
 【指定日】平成 29 年 2 月 2 日  
 【所在地】①伊賀市寺田字坂之東 944 番地、②伊賀市寺田字前坂 1307 番地  
 ③伊賀市寺田字桐之木谷  
 【所有者】①宗教法人 清正寺、②・③宗教法人 大光寺  
 【法 量】①高さ 99cm×幅約 97cm×奥行 34cm、  
 ②高さ 145cm×幅 334cm×奥行約 280cm  
 ③高さ約 200cm×幅約 400cm (露出部分)  
 【年 代】14 世紀前半～15 世紀初頭

3 基の石造地蔵菩薩坐像(以下、石造地蔵菩薩坐像①～③と記述)は、伊賀市寺田の大光寺のある丘陵および周辺に所在する。大光寺は現在、真言宗豊山派の寺院であるが、明徳3(1392)年の『西大寺諸国末寺帳』には、伊賀の筆頭末寺である「八鳥服部大岡寺」と記されており、南北朝時代には真言律宗の寺院であったと考えられる。

3 基の石造地蔵菩薩坐像は、いずれも隅切り形の龕<sup>がん</sup>を彫り窪めた中に地蔵菩薩坐像を半肉彫で表現する。また、蓮華座<sup>れんだい</sup>は蓮台・敷加子<sup>しきなす</sup>・反花<sup>かえりばな</sup>・框<sup>かまち</sup>の4重で構成されており、小型の宝珠を持つことや、光背<sup>こうはい</sup>の形状が似るなど、3基とも共通の様式で作成されていたことが窺える。

### 1 石造地蔵菩薩坐像①

大光寺のある丘陵西側、寺田字坂之東に所在する地蔵堂に安置される。表面や四周を整形したほぼ正方形の岩に、上部二隅の隅切りを行った縦長の龕を彫り込み、龕内部に頭光および身光を有し、4重の台座に坐す地蔵菩薩を半肉彫で表現する。

框座<sup>かまちざ</sup>は三面が表現され、各面に内部を面落としした長方形の区画を彫り出す。反花は複弁で緩い角度で広がり、敷茄子は木瓜状透かし表現がある。蓮台の蓮弁は、輪郭を持った単弁で浅い角度で広がりを見せる。左手の宝珠は小さく、右手の錫杖は左右3つずつの遊環<sup>ゆうかん</sup>を持ち、錫杖頭<sup>しゃくじょうがしら</sup>に五輪塔を配する。三道・髮際<sup>さんどう はっさい</sup>の表現はなく、光背は二重光背で身光は肩の張った壺形で無文。頭光は八葉の単弁蓮華文で、弁中央線が先端から弁中央部まで彫り込まれる。

## 2 石造地蔵菩薩坐像②

大光寺参道の中腹に所在する花崗岩の自然石に3体の地蔵菩薩坐像が彫刻されており、「北向三体地蔵」や「岡山の石仏」とも呼ばれる。

四隅の隅切りを行った横長の龕を彫り込み、内部に並列三体の地蔵坐像を半肉彫で表現する。地蔵菩薩は、三体ともほぼ同規格で造られており、頭光および身光を有し、蓮台・敷茄子・反花・框からなる蓮華座に坐す。框座は三面が表現され、長方形の区画を正面に2つ、両脇に1つずつ彫り出し、輪郭内は面を落とす。反花は複弁、子葉は輪郭をとり、敷茄子は木瓜状透かし表現がある。蓮台は輪郭をとる単弁の魚鱗葺きで表現する。左手の宝珠は小さく、右手の錫杖は左右3つずつの遊環を持ち、錫杖頭に五輪塔を配する。光背は二重光背で、身光は肩の張った壺形で無文。頭光は八葉の単弁蓮華文で、弁中央線を先端から弁中央部まで彫り込まれる。

## 3 石造地蔵菩薩坐像③

大光寺本堂の南西に所在し、「桐之木谷地蔵坐像磨崖仏」とも呼ばれる。斜面に埋もれた大きな岩に、上部二隅の隅切りを行った縦長の龕を彫り込み、龕内部に頭光・身光を有し、4重の台座に坐す地蔵菩薩を半肉彫で表現する。框座は3面を表現するが、稜は明瞭ではなく、正面に2区、両脇に1区の長方形の区画を表す。反花は複弁で間弁は先端のみの表現となり、敷茄子は無文。錫杖の遊環は左右2つずつで、錫杖頭内部は無文である。また、光背の身光は上部で強い屈曲を見せる壺形で、頭光に蓮肉の表現や蓮弁の装飾が無くなる。このように、当像は他の2基に比べ、表現に新しい要素が見られる。

石造地蔵菩薩坐像①②は、津市・宝樹寺の石造地蔵菩薩坐像（正和3・1314年銘、県指定有形文化財）と蓮弁の表現や錫杖の五輪塔等に共通性が見られる。ともに14世紀前半に彫刻されたものと考えられる。石造地蔵菩薩坐像③は全体的な表現が簡略化されており、14世紀後半から15世紀初頭に位置付けられる。

本格的な蓮華座に坐す地蔵菩薩が、近畿地方一帯でも少ない中で、寺田地区に集中することは、石工が地域に定着し、石仏の製作技術や形態が世代を超えて継承されていたことにも価値を見いだすことができる。

## 評価

3基の石造地蔵菩薩坐像については、いずれも立体的かつ丁寧な表現が見られ、14世紀代の特徴をよく表した優品であるとともに、技術や信仰の伝播および定着という歴史的展開を窺うことができる資料群である。美術的・学術的にも高い価値を持つ重要な資料であることから、県の有形文化財（彫刻）として指定し、今後も万全の保護を図る必要がある。

(2) 工芸品

工第 75 号	ぶつづぜんじしよほうえなら 一、七条袈裟 一領	でんらいじゅうもつ 一、直綴 二領	ず だぶくろ ひとくち 一、頭陀袋 一口
	しちじょう け さ いちりょう じきとつ にりょう 一、剃刀箱 一合 並びに 剃刀 二口	えしゃくじょう いちえ 一、柄錫杖 一柄	
	つけたり はつご ぐくち さじ ひとくち すじ いっつい 附 鉢盂 五口、匙 一口、筋 一对		



【告 示】三重県教育委員会告示第 4 号 (H29.2.17 発行三重県教育公報第 1732 号)

【指定日】平成 29 年 2 月 2 日

【所在地】多気郡明和町大字上野 652 番地

【所有者】宗教法人 安養寺

【法量・品質・形状】

1. 七条袈裟：丈 92.0cm 幅 189.5 cm
2. 直綴：① 丈 126.0 cm 総衿 226.0 cm ② 不明
3. 頭陀袋：縦 60.0cm (覆蓋を開いた状態) 横 29.0cm
4. 剃刀箱並びに剃刀：①箱 縦 23.4cm、横 4.5cm、幅 4cm ②剃刀 いずれも長さ 22cm、柄幅 2.6cm
5. 柄錫杖：全長 26.0 cm、杖頭部長 14.7 cm、頭部幅 10.8 cm、遊環径 4.8 cm
6. 鉢盂：皿 口径 13.6cm、底径 7.5cm、器高 3.8cm
  - 鉢 1 口径 17.5cm、底径 8.5cm、器高 7.0cm
  - 鉢 2 口径 18.0cm、底径 9.3cm、器高 8.0cm
  - 鉢 3 口径 19.0cm、底径 9.5cm、器高 8.5cm
  - 鉢 4 口径 19.5cm、底径 5.8cm、器高 10.0cm匙 長さ 20cm、筋 長さ 19.5cm

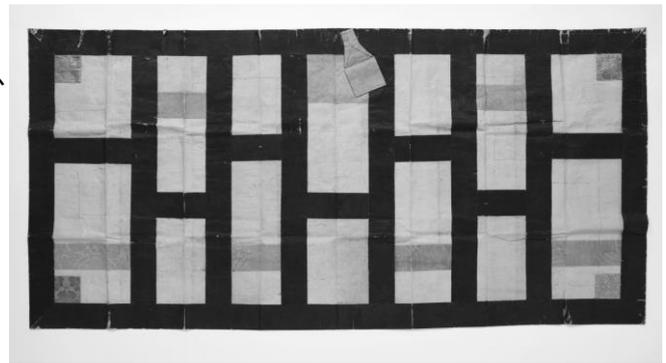
【年 代】鎌倉時代後期～江戸時代

安養寺は、永仁5年(1297)に臨濟宗の禅僧 癡兀大慧(1229-1312)(諡号:仏通禅師、以下、仏通禅師)によって創建された臨濟宗東福寺派の寺院である。中世には室町幕府や伊勢国司北畠氏からの庇護を受け、中南勢で屈指の規模を誇っていた。仏通禅師は伊勢国出身で、比叡山で学んだ後、東福寺を開山した円爾の門人となり、応長元年(1311)に東福寺第9世住持となった。開山した安養寺において、正和元年(1312)11月22日に示寂したと伝えられる。

資料は、仏通禅師が使用したとされる伝世品及び法要時に整えられたもので、内容は以下のとおりである。

## 1 七条袈裟

仏通禅師所用と伝えられる袈裟である。田相部分は白地に龍丸文を散らした顕文紗、縁、堅条と一部の横堤は紺地に尾長鳥を、横堤の一部と紐座、環座には黄色地に大ぶりの向孔雀丸文様を織り出した文綾を用いている。四隅の角帖部分は萌葱地に唐花を織り出した綾地の別絡金欄を用いる。環は緑漆によって、花唐草が表現されている。



顕文紗とは中国・南宋時代に製織が始まった文様織物で、田相に使われているものは南宋時代後半(1127~1276)に制作された品とみられる。縁や堅条等に使われる2種類の文綾も鎌倉時代以降に多く見られるもので、特に黄色地のものは中国からの請来裂と考えられる。四隅の金欄は他の生地より制作年代が下がる様式を示しており、後世の補修によるものと考えられる。

このように、多くの裂地は仏通禅師所用として違和感のないもので、当初の様相を残しているが、後世、傷みが進んだためか、全体に和紙による裏打ちがなされている。また、本来この袈裟を納めていたと考えられる箱(現在は後述する直綴を納める)の墨書からも、修理を重ねながら伝えられてきたことがわかる。浅葱地に蓮唐草文様を織り出した浮織綾の袈裟包が付属し、頭陀袋とともに、桐の二方棧箱に納められる。

## 2 直綴

袈裟のすぐ下に着用する法衣で、仏通禅師所用と伝えられる。上半身と下半身がつながっている衣服で、襟をうちあわせ、附属する紐で腰の左右を結びとめ着用する。禅宗とともに中国から伝わり、禅僧の外見上の指標とされてきた。

二領あり、①は3種類の文綾(赤茶地八藤丸文、赤茶地石畳文、黄茶地団花文)を40片程度縫い合わせたもの、②は明るい黄茶地に波のような文を織り出した文綾を用いたものである。②は傷みが激しく、畳んだ状態で縫いとめられているため広げることができない。これら二領は、桐箱に納められているが、本来この箱は箱書きから袈裟を納めるものとして制作された。

## 3 頭陀袋

仏通禅師所用と伝えられる、経文等の僧具を携帯するための首からさげる袋である。

表地には焦茶色平織<sup>ひらおり</sup>の麻、裏地には紺地<sup>いりこひし</sup>に入子菱文様を綾織した麻をあわせ、四周を白と萌葱の段を織り出した綾織の絹で縁取っている。これを三つ折にして襷をつけ、袋に仕立てている。覆蓋<sup>おおいふた</sup>から背面にかけて仏通禅師が示寂した時刻と場所が墨書されている。

#### 4 剃刀箱 並びに 剃刀

剃刀箱は長方形印籠蓋造の箱で、内部を板で仕切り、剃刀 2 口を納める。長側面中央に金銅製の菊花形紐金具がつく。

外面は黒漆塗に平目地で仕立て、蓋中央に金平時絵<sup>きんひらまきえ</sup>で単弁の菊の折枝 1 本を表している。内面は黒漆地として蓋裏と身込<sup>つけがき</sup>に付描で蝶と鳥が飛び交う様子を描く。

剃刀 2 口の柄は、黒漆塗平目地に箱内部と同様の蝶鳥文<sup>ちょうとりもん</sup>を表す。剃刀の刃には著しい使用痕がある。

中世の剃刀箱の類例がないことや、後世の修理痕跡も認められることから、改装や転用の可能性はあるものの、平目粉を用いた地時、平時絵<sup>かきわり</sup>に描割を組み合わせた菊花の表現、単純化された蝶鳥の描写などから、制作年代は中世に遡ると考えられる。

#### 5 柄錫杖

読経等に合わせ振り鳴らして用いるもので、本例は柄（手）錫杖である。

心葉形の外輪の左右の肩に雲形、腰に三日月形を表し、外輪頂部には宝珠形があったと思われるが一部を欠失している。穂袋部の先端は水瓶形<sup>むらびて</sup>、蕨手先には蓮台宝珠を配し、外輪左右には各 3 個の遊鑲<sup>ゆうかん</sup>を備える。

総体に磨滅が著しく、また各部の表現が不明瞭なところから、何らかの由緒を持つ古い錫杖を型取りして鑄造した可能性も残る。心葉形の外輪の形式は中世を遡る古様を伝えるが、太く重厚に表された蕨手や穂袋部の表現には中世的特色も認められ、仏通禅師在世時をやや遡る頃に制作されたと考えられる。なお、木製の柄は後補である。

#### 附 鉢盂 五口、匙 一口、筋 一对

禅宗の修行僧が使用する食器で、入れ子状に重ねられている。轆轤<sup>ろくろ</sup>で成形した木製素地に黒漆を塗ったあと、朱漆を塗り重ね、底部はさらに黒漆を塗り重ねている。文化 8 年（1811）の墨書のある箱および袱紗<sup>ふくさ</sup>に収納されており、付属の朱漆塗匙および筋とともに、仏通禅師の五百回忌の儀式用に制作されたものと考えられる。

#### 評価

安養寺を開山し、かつ当寺で示寂したと伝わる仏通禅師の所用品として、まとめて伝えられている資料である。特に袈裟や法衣の染織品は、鎌倉時代にまで遡り、一部に南宋からの請来裂を用いているところから、所伝通り、仏通禅師の所用品の可能性が高く、禅宗において、師から弟子に教えを付嘱した証として授ける「伝衣<sup>でんえ</sup>」とその関係品と考えられる。

当資料は、三重県内において、臨済宗東福寺派の寺院として屈指の規模を誇っていた安養寺開山の仏通禅師に関係するまとまった資料であり、学術的・文化史的にきわめて価値が高い、県内第一級の文化財である。

### (3) 古文書

文第 66 号 だいほういんもんじょ 大宝院文書

50 通 4 冊、附 6 点

【告 示】三重県教育委員会告示第 4 号 (H29.2.17 発行三重県教育公報第 1732 号)

【指定日】平成 29 年 2 月 2 日

【所在地】津市大門 32 番 19 号

【所有者】大宝院

【規模・品質・形状】紙本墨書

【年 代】室町～江戸時代

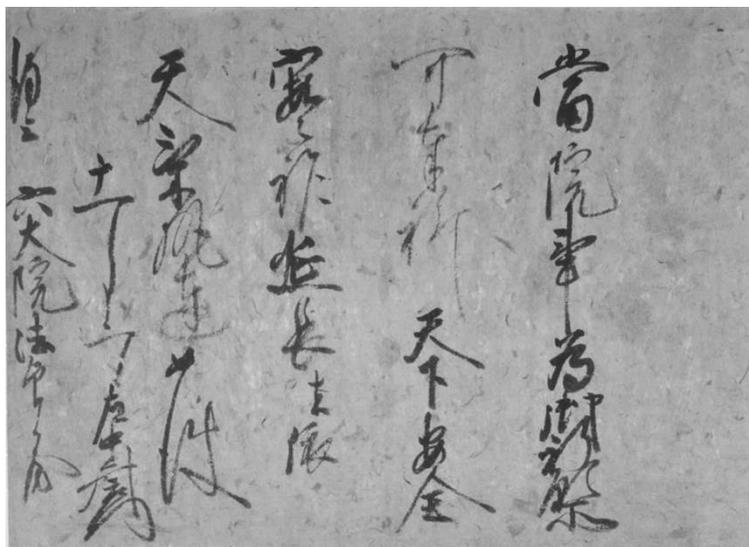
当資料は、津市大門に所在する恵日山観音寺(津観音)の本坊である大宝院に伝えられた、室町時代から江戸時代後期にかけての古文書群である。

大宝院は、伊勢国菟芸郡窪田(現在の津市大里窪田町)に所在した真言宗寺院・六大院を前身とする。安土桃山時代から江戸時代初期には「六大院」と「大宝院」が併称されるようになった。六大院は、寺伝では醍醐寺報恩院流の長円上人が文安元年(1444)に開創、後花園天皇の信任を得て禁裏の勅願所になったという。窪田の六大院は当時の文化拠点だったが、その後の兵火で衰退し、天正 8 年(1580)に現在の観音寺境内に再興された、と伝えられている。

資料は、古文書 50 通、検地帳 4 冊の合計 54 点と、附の 6 点である。その内容から、以下のように区分できる。

#### 1 六大院 院家関係文書 22 通

六大院の院家に関する文書である。①～③は室町時代のものである。①は「後花園天皇りんじ綸旨」として伝来するが、署名者である甘露寺元長かんろじもとながの在任期間から、後土御門天皇の綸旨と考えられる。②は後柏原天皇の宸筆うつくもりと伝わる勅額で、打曇紙うつぐもに書かれている。寺伝では永正 16(1519)年に賜ったとされる。③は後奈良天皇綸旨。①・③は、いずれも漉き返し痕のある薄墨色の宿紙しゆくしに書かれている。



④～⑪は、元禄 4 年(1691)から元治元年(1865)にかけての綸旨である。いずれも本紙・礼紙らいし・封紙ふうしが「うぶ」な状態で残されている。醍醐寺報恩院末寺である旨がこの時期のものには明記されている。

⑫～⑳は、六大院住持の代替わりにあたっての東坊城家ひがしほうじょうとの猶子ゆうし関係にかかるとの契書ちぎりしょと書状である。⑭～⑲は④～⑪の綸旨とセットになっている。⑳は東坊城家と六大院住持との猶子関係再興を示すもので、⑫～⑲の根拠となった書状である。永正 16 年(1519)から享禄

2年(1529)までの間に比定できる。

## 2 女房奉書 9通 附2点

①～⑧は、後柏原天皇・後奈良天皇の女房奉書である。六大院から禁裏へ送られた祈祷巻数や茶に対する返礼である。散し書で、それぞれ本紙と裏紙の2紙からなるが、⑥のみ裏紙が見当たらない。一方、どの本紙とも折り目・虫損の合わない裏紙が1枚あり、これを附とした。また、これらを収めていた封筒があり、附とした。

料紙はいずれも室町時代の女房奉書に特有の上質な楮紙である。

## 3 醍醐寺関係文書 12通 附2点

六大院と醍醐寺、とくに醍醐寺光台院弘賀こうがとの関係を示す一群の文書である。②では、六大院開祖の長円が東坊城益長の猶子となり、禁裏へ参内可能となったことが記されている。③・④では、尾張真福寺(名古屋市)の真言法統を受け継いでいること、弘賀の仲介で醍醐寺の門徒として認められたことなどが記されている。⑤～⑩は天文3年(1534)に東寺で実施された空海七百年忌曼荼羅まんだら供養に六大院が参加していたことを示す文書群である。⑨は江戸時代の写しだが、この根拠となる内容が記されている。附は、これらの文書を収めていたと思われる封筒と、⑪を封紙まで含め江戸時代に写された文書の2点である。

## 4 大宝院寺領関係文書 4冊5通 附1点

①～③は文禄3年(1594)に実施された検地帳で、袋綴状に仮綴じされた冊子である。①は安芸郡窪田地内の屋敷に関するもの、②は一志郡七栗ななくりの中村郷上津前(津市中村町)の田畠に関するものである。③は②の写しで、ほぼ同時期に作成された控えと考えられる。附は、③を収めていたと考えられる封筒である。

④は①～③の諸役を免じた豊臣秀吉の朱印状。⑤・⑥は関ヶ原合戦以降に④の權益を追認した書状、⑦・⑧は江戸時代前期の徳川家による朱印状で、同じく前代の免許を追認したものである。⑨は享保6年(1721)の窪田村内戒下村の検地帳で、主に①の検地帳にかかる範囲を再検地したと考えられる。

## 5 一通文書 2通 附1点

羽柴(豊臣)秀吉の書状および朱印状で、いずれも大宝坊宛である。天正12(1584)年の小牧長久手合戦に関係すると考えられる。なお、この2通を包んでいた包紙が1点あり、附とした。

## 評価

当資料は、室町時代の繪旨や女房奉書がまとまっていること、地方寺院と中央(京都)寺院との関係が知れること、江戸時代における住持職就任にあたっての経緯が分かる良質な資料群であること、などが特徴である。当資料の伝来過程は明確であり、学術的・文化的な価値が極めて高い、県内第一級の古文書群である。

【指定一覧】

**1 大宝院 院家関係文書 22通 (室町～江戸時代)**

区分	年代	区分	年代
①後土御門天皇綸旨	(文安元年)11月2日	⑫東坊城家契書(長翁上人宛)	(年不詳)正月28日
②伝後柏原天皇勅額	(年不詳)*室町時代力	⑬東坊城家契書(堯圓上人宛)	寛文10年8月12日
③後奈良天皇綸旨	天文3年3月3日	⑭東坊城家契書(快長上人宛)	貞享5年3月19日
④東山天皇綸旨(快長上人宛)	元禄4年2月24日	⑮東坊城家契書(周長上人宛)	享保20年3月4日
⑤中御門天皇綸旨(周長上人宛)	享保20年3月2日	⑯東坊城家契書(長辨上人宛)	寛延3年4月22日
⑥桃園天皇綸旨(長辨上人宛)	寛延3年7月10日	⑰東坊城家契書(靈長上人宛)	安永9年4月22日
⑦光格天皇綸旨(靈長上人宛)	安永9年6月14日	⑱東坊城家契書(真長上人宛)	天明6年10月30日
⑧光格天皇綸旨(真長上人宛)	天明6年12月6日	⑲東坊城家契書(尊長上人宛)	文政5年10月10日
⑨仁孝天皇綸旨(尊長上人宛)	文政5年10月28日	⑳東坊城家契書(本長上人宛)	文政13年10月22日
⑩仁孝天皇綸旨(本長上人宛)	文政13年10月22日	㉑東坊城家契書(是長上人宛)	元治元年5月24日
⑪孝明天皇綸旨(是長上人宛)	元治元年6月8日	㉒東坊城和長書状(六大院宛)	(年不詳)8月9日

**2 女房奉書 9通、附2点 (室町時代)**

区分	年代	区分	年代
①後柏原天皇女房奉書	大永元年	⑥後奈良天皇女房奉書	享禄4年10月7日
②後柏原天皇女房奉書	大永2年6月8日	⑦後奈良天皇女房奉書	天文5年1月5日
③後柏原天皇女房奉書	大永3年12月6日	⑧後奈良天皇女房奉書	天文6年8月3日
④後奈良天皇女房奉書	享禄2年4月20日	⑨宰相局某消息	(年不詳)
⑤後奈良天皇女房奉書	享禄3年5月3日		
附 女房奉書断簡	(年不詳)	附 女房奉書袋(封筒)	(年不詳)

**3 醍醐寺関係文書 12通、附2点 (室町～江戸時代)**

区分	年代	区分	年代
①光台院弘賀書状(切紙)	(年不詳)10月24日	⑦法務権僧正義堯直書	(天文3年)2月16日
②権大僧都長慶言上状案	(年不詳)11月15日	⑧光台院弘賀書状	(天文3年)3月10日
③三宝院門跡義堯直書	(年不詳)11月19日	⑨空海七百年忌曼荼羅供聴衆交名写	天文3年3月20日
④光台院弘賀副状	(年不詳)11月19日	⑩三宝院門跡義堯直書(切紙)	(年不詳)12月19日
⑤光台院弘賀書状	(天文3年)閏正月10日	⑪光台院弘賀書状	(天文3年力)4月27日
⑥後奈良天皇綸旨案	(天文3年)後正月12日	⑫光台院弘賀書状	(天文3年)4月27日
附 光台院弘賀書状写	(天文3年力)4月27日	附 光台院弘賀書翰入	

**4 大宝院 寺領関係文書 5通4冊、附1点 (室町～江戸時代)**

区分	年代	区分	年代
①伊勢国安芸郡窪田幡多寺屋敷門前御檢地帳写	文禄3年8月8日	⑥片桐且元等連署書状(分部左京宛)	慶長6年9月3日
②伊勢国一志郡七栗内中村郷上津前檢地帳	文禄3年12月21日	⑦徳川秀忠朱印状	元和3年9月7日
③伊勢国一志郡七栗内中村郷上津前檢地帳写	文禄3年12月21日	⑧徳川家光朱印状	寛永13年11月9日
④豊臣秀吉朱印状	文禄3年12月3日	⑨奄芸郡窪田村戒下内檢地帳	享保6年9月
⑤(分部力)隼人書状	(慶長6年)3月19日	附 七栗知行所檢地帳袋(封筒)	

**5 一通文書 2通、附1点 (安土桃山～江戸時代)**

区分	年代	区分	年代
①羽柴秀吉書状	(天正12年)6月12日	①羽柴秀吉書状	(天正12年)6月12日
附 包紙	(天正12年力)11月10日		

## (5)考古資料

考第 31 号	ひがしじょう 東条 1号墳出土品	551 点
一、 <sup>しじゅうきょう</sup> 四獣鏡 1面	一、 <sup>どうくしろ</sup> 銅釧 1点	一、 <sup>てつせいぶきるい</sup> 鉄製武器類 14点
一、 <sup>せきせいたまるい</sup> 石製玉類 18点	一、 <sup>がらすせいたまるい</sup> ガラス製玉類 491点	一、 <sup>どきるい</sup> 土器類 26点



【告 示】三重県教育委員会告示第 4 号 (H29.2.17 発行三重県教育公報第 1732 号)

【指定日】平成 29 年 2 月 2 日

【所在地】三重県多気郡明和町竹川 503 三重県埋蔵文化財センター

【所有者】三重県

【年 代】6 世紀前半

本件は、平成 24 年度に三重県埋蔵文化財センターが実施した東条 1 号墳 (伊賀市東条) の発掘調査によって出土した資料である。

東条 1 号墳は直径約 10m の円墳で、計 3 基の埋葬施設が確認されている。本件は埋葬施設 1・2 から出土した副葬品である (埋葬施設 3 は未調査)。埋葬施設 1・2 は未盗掘だったため、副葬品配置や装身具の着装状況が良好にうかがえた。須恵器や金属製品の型式から、埋葬時期は 6 世紀前半 (古墳時代後期) と考えられる。

副葬品には、金属製品・石製品・ガラス製品・土器がある。埋葬施設 1 からは、金属製品 (大刀・鉄鏃)、土器 (土師器・須恵器) が出土したが、鏡や装飾品は含まれない。埋葬施設 2 からは、金属製品 (銅鏡・銅釧・刀子)、石製品 (玉類)、ガラス製品 (玉類)、土器 (須恵器) が出土したが、武器は含まれない。この違いから、性別ないし職掌の異なる被葬者を並べて埋葬したものと推測される。以下、埋葬施設ごとに副葬品の特徴を記す。

### 1. 埋葬施設 1

**大刀、大刀装具** 大刀は被葬者の左側に配された長さ 112.7 cm の長刀で、柄頭を失っ

ているが、刀身付近から出土した大刀装具から、C字形の振り環頭を有する環頭大刀であったと考えられる。また、鞘外面と柄部に巻かれた紐巻が一部残り、有機質の刀装（拵え）に関する情報が豊富である。

振り環頭大刀は、大阪府峯が塚古墳例に代表される飾り大刀で、5世紀末から6世紀の政治的動向を知る上で注目される遺物である。東条1号墳の被葬者と、畿内の上位首長層ないし武器工房との関わりを示唆する。県内で他に4例が知られているが、伊賀地域では初例となる。本例は刀身の残りもよく、有機質の刀装の復元が可能な点で、県内出土の振り環頭大刀の中でも非常に貴重な資料といえる。

**鉄鏃** 11点あり、すべて長頸鏃である。2種類の織物が付着していたことから、矢柄に装着され、織物に包まれていたことが知られる。

**土器** 須恵器坏・壺などがある。このうち、棺外に配された須恵器坏は、畿内で流行した「六文銭祭式」（土器を六文銭状に並べる方式）が採用されており、畿内との葬送儀礼の共通性が指摘できる。また、土器の口縁部や底部は意図的に打ち欠かれたものがあり、葬送儀礼の様子を知ることができる。

## 2. 埋葬施設2

**銅鏡** 被葬者の首から胸にかけての位置に置かれた直径11.8cmの青銅鏡である。鏡背の中心に半球形の紐があり、その周囲に円圏がめぐる。内区主文部に4体の獣像が描かれる四獣形鏡で乳を持たない。外区には鋸歯文帯・複線波文帯・外向きの鋸歯文帯が配置される。5世紀後葉から6世紀前葉に国内で製作されたとみられる。

**銅釧** 外径7.4cm、青銅製で、玉類とともに左手に装着されていたと考えられる。

**刀子** 残存長は5.2cmで、先端を欠失している。刀身部は平造りで、関は両関である。柄部は木質で覆った後に鹿角装としている。

**石製品・ガラス製品（玉類）** 勾玉・管玉・丸玉・小玉が509点あり、材質はガラス製が490点を占める。県内のガラス玉出土点数としては、石山古墳西郭（伊賀市）、おじよか古墳（志摩市）、井田川茶臼山古墳2号石棺（亀山市）に次ぎ第4位である。東条1号墳のガラス玉類の多さは、その墳丘規模からすれば極めて異例といえる。

玉類は出土位置から、首飾り・腕飾り・足飾りに用いられていたと推察でき、用途によって玉の種類や材質を使い分けている様子がうかがえる。

**土器** 全て須恵器で、坏・甗・提瓶・横瓶・壺がある。出土位置は棺内・棺外・墓壇上の三か所に分かれ、葬送儀礼の各段階で置かれたことが知られる。

## 評価

東条1号墳の立地する旧阿閉郡は、三重県最大の前方後円墳である御臺山古墳や、前方後円墳・小規模古墳が密集する外山・鷺棚古墳群が所在し、古代には伊賀国府が設置されるなど、伊賀盆地のなかでも中心的な地域といえる。このなかで東条1号墳は、直径10m程度の小規模古墳であるにもかかわらず、極めて豊富な副葬品を有している。また、畿内の葬送儀礼との共通性も認められ、畿内に接した当地の重要性や特徴をよく表している。

加えて、東条1号墳は未盗掘古墳であり、発掘調査により出土状況が明確にされ、当時の埋葬手法や被葬者の性格を詳しく知ることができる点で資料的価値が高い。

### (3)歴史資料

ほうえいつなみくようひ まごせぼち さんがいばんれいひ  
歴第 11 号 宝永津波供養碑 (馬越墓地の三界萬霊碑)

【告 示】三重県教育委員会告示第 4 号

(H29.2.17 発行三重県教育公報第 1732 号)

【指定日】平成 29 年 2 月 2 日

【所在地】尾鷲市北浦西町 1520 番

【所有者】宗教法人金剛寺

【法量・構造形式】

碑：高 149.0 cm、幅 45.0 cm、奥行 36.5 cm、砂岩製

基礎上段：高 22.0 cm、幅 82.0 cm、奥行 69.0 cm、砂岩製

基礎下段：高 11.0 cm (現高)、幅 112.0 cm、

奥行 101.5 cm、砂岩製

【年 代】江戸時代 (正徳 3 年、1713 年)



当文化財は、尾鷲市北浦町の馬越墓地に所在する楕形の石碑である。碑の正面に「経塚 三界萬霊」とあり、左面・裏面・右面に宝永 4 年 (1707)10 月 4 日に起きた地震による山崩れと津波の規模や被害の状況、造立の主旨を記している。その銘文の末尾から正徳三年 (1713)10 月 4 日、紀北町船津に所在する永泉寺の師心が銘文を作成し、当時尾鷲市野地町にあった良源寺の絶巖が建立したことが知られ、宝永地震津波溺死者の七回忌に際し造立された供養碑と判断できる。

近代になり、良源寺が廃寺になると、本碑の所有は金剛寺に移った。なお、本碑の所在する土地の所有者は尾鷲市となっている。

本碑の材質は石碑本体、基礎上段、基礎下段とも軟質の砂岩であり、総高は 182.0 cm である。

本碑に記された銘文によれば、宝永 4 年 10 月 4 日、大地震の後、津波が三方から押し寄せ、男女老若の溺死者が千有余人にまで及んだことを伝えている。同墓地内には、宝永 4 年 10 月 4 日が命日となっている供養塔があり、被害の大きさを物語っている。

また碑正面の銘文によれば、本碑は「経塚」に伴う碑でもあったと考えられる。本碑の周辺から経石等が確認できれば、原位置を保っている可能性も大きくなると考え、その点も注意して現地調査を行ったが、発掘を伴わない調査では、本碑が造立時の原位置を保っており、「経塚」などの地下遺構があるかどうかを判断することはできなかった。

今後、碑の移動や修理が必要となった場合は、周辺も含めた十分な調査を行い、経塚や経石等が確認された場合は、改めて追加の価値判断を行う必要がある。

#### 評価

本碑は、宝永の大地震とそれに伴う大津波という、三重県の歴史上、決して忘れてはならない重要な事象に関する遺品である。銘文から造立年代も明確で、内容から当時の尾鷲での被害状況を伝えている重要な資料であることから、県の有形文化財 (歴史資料)として指定し、今後も万全の保護を図る必要がある。

## 2 県指定文化財の解除

種別	名称	所有者 保持団体	解除日	理由
有形文化財（建造物）	旧長谷川家住宅 主屋・大正座敷・袴付・待合 表蔵・米蔵・大蔵・新蔵・ 西蔵・蔵前・物置・南表塀・ 北表塀・庭塀・南中塀・ 北中塀・離れ・離れ北塀・ 四阿・神祠・鳥居及び手水	松阪市	手水以外：H28.7.25  手水：H29.2.2	国指定のため  手水は県条例 第6条第1項 に基づき解除
有形文化財（絵画）	絹本着色 弘法大師像	大宝院	H28.8.17	国指定のため
無形民俗文化財	鳥羽・志摩の海女による伝統的 素潜り漁技術	鳥羽海女保存会 志摩海女保存会	H29.3.3	国指定のため

### 3 国指定等文化財の指定等

#### (1) 重要文化財の指定

【建造物】旧長谷川家住宅（三重県松阪市魚町）

8棟

主屋・大正座敷・大蔵・新蔵・米蔵・西蔵・表蔵・離れ

附 袴附、表塀2棟、中門及び中塀1棟、庭塀1棟、物置1棟、稲荷社1棟、  
四阿1棟、祈祷札1枚（主屋附）、祈祷札1枚（大蔵附）、祈祷札1枚  
（新蔵附）、棟札1枚（米蔵附）、絵図5枚

指 定 日：平成28年7月25日

所 在 地：松阪市魚町1653

所 有 者：松阪市

建設年代：江戸時代～大正時代

概 要： 長谷川家は江戸時代前期から江戸と松坂で店舗を開設して繁栄を極めた伊勢商人で、魚町側の敷地に主屋、大正座敷、大蔵等の土蔵群といった屋敷を構え、殿町側の敷地には大きな池をもつ回遊式の庭園を中央に、その東に離れを配している。



江戸時代中期に建てられた主屋は明治に至るまで何度かの増改築を重ねた建物で、華美な装飾等は見られないものの上質の材料を用いた重厚な構えをみせる。他の建物群においても、近年の改変が最小限にとどめられ、家業の繁栄に伴い、敷地や建物を拡大していった様子をよく示している。

旧長谷川家住宅は、江戸時代から大正時代にかけて、家業の隆盛とともに敷地や建物を拡張した、県内において最古級かつ最大規模の町家建築であり、各建物の棟札や絵図等とともに江戸店持ち伊勢商人の住宅の発展過程がわかり歴史的な価値が高い。

【絵画】絹本著色弘法大師像 画中に泉涌寺等の墨書がある

1幅

指 定 日：平成28年8月17日

所 在 地：津市大門32-19

所 有 者：宗教法人 大宝院

年 代：鎌倉時代

寸 法：縦約141cm、横約112cm

概 要： 真言宗の宗祖、弘法大師を描いたもの。椅子式の台座に座り、右手に五鈷杵を、左手に数珠を握った姿で描かれている。肉身は墨線、衣は赤茶色の線で描きわけ、唇には朱のぼかしを入れるなど細緻な表現方法がみられる。

全体に表現はかたいものの描写が丁寧で、素材の絹地の目も細かく、鎌倉時代後半に制作されたものと考えられる。台座の下に「泉涌寺」「真言院」の墨書があり、もとは泉涌寺（京都市）の什物であったと思われる。



【彫刻】木造十一面観音立像 右足柄に巧匠定阿弥陀仏長快の銘がある

1 幅

指 定 日：平成 28 年 8 月 17 日

所 在 地：三重郡菰野町大羽園松ヶ枝町 21-6

所 有 者：公益財団法人 岡田文化財団  
(パラミタミュージアム保管)

年 代：鎌倉時代前期

法 量：像高約 122cm

概 要： 建保 7 年（1219）年に復興された、長谷寺（奈良県桜井市）の本尊である十一面観音菩薩立像と同じ御衣木（用材）によって、8 分の 1 の縮尺で制作されたもの。長谷寺の本尊は「長谷寺式十一面観音」とも呼ばれている。建保 7 年の長谷寺本尊復興は、仏師として著名な快慶が担当した。この像は快慶の弟子の長快が制作したもので、快慶から長快へと伝えられた作風をみるうえで極めて貴重な作品である。また、数少ない長快の作品であることも特筆できる。この像は、元興寺（奈良市）にあったものを明治時代に三重県四日市市の旧家が譲り受け、平成 20 年にパラミタミュージアムに寄贈されたものである。



(2) 重要文化財の指定（追加・員数変更） 指定日：平成 28 年 8 月 17 日

名称	所有者	変更前員数		変更後員数		備 考
【古文書】 佐藤家文書	公益財団法人 石水博物館	57 通 (7 巻)		59 通 (8 巻 1 通)		追加指定 1 巻 1 通
【歴史資料】 松浦武四郎 関係資料	松阪市 (松浦武四郎 記念館保管)	著述稿本類	511 点	著述稿本類	511 点	員数変更
		地図・絵画類	59 点	地図・絵画類	59 点	
		書籍類	287 点	書籍類	287 点	
		文書・記録類	372 点	文書・記録類	374 点	
		書画・器物類	274 点	書画・器物類	274 点	
【絵画】 旧永島家襖絵 曾我蕭白筆	三重県 (三重県立 美術館保管)	紙本墨画山水図	8 面	44 面 紙本墨画山水図	8 面	員数変更
		紙本墨書竹林七賢図	8 面	紙本墨書竹林七賢図	8 面	
		紙本墨書淡彩波濤群禽図	13 面	紙本墨書淡彩波濤群禽図	12 面	
		紙本墨書淡彩松鷹図	5 面	紙本墨書淡彩松鷹図	5 面	
		紙本墨書禽獣図	4 面	紙本墨書禽獣図	4 面	
		紙本墨書淡彩狼狽図	3 面	紙本墨書淡彩狼狽図	3 面	
		紙本墨書放牛図	4 面	紙本墨書放牛図	4 面	

### (3) 重要無形民俗文化財の指定

#### 【民俗技術】鳥羽・志摩の海女漁の技術

指 定 日：平成 29 年 3 月 3 日

所 在 地：鳥羽市内・志摩市内

保護団体：鳥羽海女保存会・志摩海女保存会

概 要： 三重県鳥羽市と志摩市に伝承される、女性たちによる素潜り漁に関わる漁撈技術である。主に磯浜を中心とした地先沿岸を漁場とし、アワビをはじめ、サザエ、トコブシ、イワガキ、イセエビ、ウニ、ナマコ、アラメ、ヒジキ、テングサといった貝藻類を対象に、身ひとつと簡易な道具（イソノミなど）による採取活動を今に伝えている。



漁法としては、カチド、フナド、ノリアイの 3 種がある。カチドは海女が直接陸から泳いでいって行うもの、フナドは夫婦などが船に乗り込み協同行うもの、ノリアイは 1 隻の船に船頭と複数の海女が乗り合わせ、目的地の漁場で各自が行うものである。漁場の識別や採捕の能力は、海女個々の経験により蓄積されていくが、海女小屋などでの会話を通して、集団から継承されるものも少なくない。

この他、地域社会が海女の存在を許容し、海女を職業として認めている点、古代から続く伊勢神宮との関係、素潜り漁の維持による水産資源の管理、海女に伝わる豊漁や魔除けの信仰といった部分に特色がある。

#### (4) 有形文化財（建造物）の登録

##### 24-0232～234 八千代玄関棟・大広間棟・鶴亀棟

3棟

登録日：平成28年8月1日

所在地：松阪市殿町1295

所有者：個人

建設年代：玄関棟・大広間棟：昭和初期／昭和32年頃改修  
鶴亀棟：大正初期／昭和前期移築

登録基準：(二) 造形の規範となる

概要： 八千代は、松坂城下町のなかでも武家屋敷が多く建てられた殿町にある割烹旅館である。大正4年の創業当時は松坂城二の丸跡で営業していたが、昭和4年頃に現在地へ移った。大広間棟の110畳の広間は、潇洒な意匠を凝らし、当時の旅館建築の特徴を示している。殿町周辺には、松坂城跡（国史跡）、旧松坂御城番長屋（重要文化財）などがあり、八千代は、楨垣に囲まれた武家屋敷地の趣が残る一帯で歴史的景観を構成する建物の一つとなっている。



##### 24-0235 三重郷土資料館（旧三重村役場倉庫）

1棟

登録日：平成28年11月29日

所在地：伊勢市八日市場町8ほか

所有者：三重地区連合自治会

建築年代：大正5年（1916）／昭和51年移築

登録基準：(二) 造形の規範となる

概要： 三重郷土資料館は旧三重郡三重村役場の書庫として建てられた建物で、三重村と四日市市が昭和29年に合併した後も出張所の書庫として使われていた。昭和49年に地区市民センターが新築される際、地元の方々の尽力により現在地に移築された。土蔵造2階建ての建物で、「三重」の文字が刻まれた鬼瓦に、当時の役場の面影が残っている。現在は郷土資料館として、小中学生の学びの場や地元の人々に積極的に利用されている。



登録日：平成28年11月29日

所在地：度会郡度会町駒ヶ野字ヲキの南651・661合併

所有者：個人

建築年代：主屋：江戸末期／明治15年頃増築、昭和40年頃改修

蔵、石積塀：江戸末期

登録基準：(一) 国土の歴史的景観に寄与する

概要：木村家は、紀州藩の役所に赴任した役人を祖

とする旧家で、石積塀で区画された敷地に主屋と蔵が建っている。主屋は、幕末に紀州藩主の脱出経路の宿所として建て替えられたと伝わる木造平屋の建物で、紀州藩主を迎えることができるように、玄関には駕籠寄せが設けられている。また室内も段差によって区画し、藩主を迎える座敷は格式高いものとなっている。蔵や石積塀とあわせ、江戸時代における当地域の名士の屋敷構えを伝える建物群である。



#### (6) 登録有形文化財（建造物）の抹消

名称	所有者	抹消日	理由
西生寺本堂	宗教法人 西生寺	H29.2.23	解体除却

## 4 市町指定文化財の指定等

### (1) 指定

市町	種別	名称	所在地	所有者	指定日
鈴鹿市	有形文化財 (歴史資料)	吉澤桜島碑記	鈴鹿市桜島町 1 丁目	宗教法人 彌都加伎神社	H28.4.26
亀山市	有形文化財 (歴史資料)	亀山における谷口一族関連資料	亀山市野村 3 丁目 亀山市御幸町	宗教法人照光寺 宗教法人本久寺	H28.5.31
御浜町	無形民俗文化財	阿田和の獅子舞	南牟婁郡御浜町阿田和	阿田和交流会	H28.9.12
四日市市	有形文化財 (彫刻)	木造阿弥陀如来坐像	四日市市堂ヶ山町	宗教法人遠生寺	H29.3.22
		木造薬師如来坐像			
伊賀市	有形文化財 (建造物)	成瀬平馬家長屋門	伊賀市上野丸之内	伊賀市	H29.3.28
	記念物 (史跡)	松寿院供養塔	伊賀市長田	常住寺	
津市	有形文化財 (彫刻)	木造魚籃観音立像	津市乙部	津市	H29.3.31

### (2) 解除

市町	種別	名称	所在地	所有者	解除日
鈴鹿市	有形文化財 (彫刻)	木造深沙大将立像	鈴鹿市稲生西 2 丁目	宗教法人神宮寺	H29.2.2
津市	有形文化財 (古文書)	大宝院所蔵文書	津市大門	大宝院	H29.2.2
尾鷲市	有形文化財 (建造物)	馬越墓地津波供養塔	尾鷲市北浦西町	個人	H29.2.2
伊賀市	有形文化財 (彫刻)	石造地藏菩薩坐像	伊賀市寺田字坂之東	宗教法人清正寺	H29.2.2
		岡山の石仏	伊賀市寺田字前坂	宗教法人大光寺	H29.2.2
		大光寺桐之木谷地藏菩薩坐像 磨崖仏	伊賀市寺田字桐之谷		H29.2.2
明和町	有形文化財 (工芸品)	仏通禪師所用法衣並びに什物	多気郡明和町上野	宗教法人安養寺	H29.2.2

## 5 三重県文化財保護審議会

(1) 審議会委員（任期：平成 28 年 9 月 24 日～平成 30 年 9 月 23 日）

氏名	担当分野	所属
林 良彦	建造物	奈良文化財研究所文化遺産部長
黒田 龍二	建造物	神戸大学大学院教授
関根 俊一	絵画・工芸	奈良大学教授
梶谷 亮治	絵画・工芸	奈良国立博物館名誉館員
山口 泰弘	絵画・工芸	三重大学教授
伊東 史朗	彫刻	和歌山県立博物館長
松岡 久美子	彫刻	近畿大学准教授
岡野 友彦	文書・典籍	皇學館大学教授
岡嶋 偉久子	文書・典籍	天理大学附属天理図書館稀書目録室長
櫻井 治男	民俗	皇學館大学特別教授
古家 信平	民俗	筑波大学教授
鬼頭 秀明	民俗	中京大学非常勤講師
坂井 秀弥	史跡・考古	奈良大学教授
広瀬 和雄	史跡・考古	国立歴史民俗博物館名誉教授
高橋 知奈津	名勝・考古	奈良文化財研究所研究員
森 勇一	地学	金城学院大学非常勤講師
向井 譲	植物	岐阜大学教授
前迫 ゆり	植物	大阪産業大学大学院教授
森 誠一	動物	岐阜経済大学教授
藤澤 典彦	石造文化財	大阪大谷大学非常勤講師

(2) 審議会

第1回	日時	平成 28 年 7 月 29 日（金） 13 時 30 分～16 時 30 分
	場所	三重県庁 7 階 教育委員室（三重県津市広明町 13）
	内容	○報告 平成 28 年度文化財保護事業について、国指定等文化財の指定等について 国・県指定文化財の現状変更等について ○諮問 三重県指定文化財の指定等に関する諮問 ○審議 平成 28 年度三重県指定候補文化財の選考及び調査について
第2回	日時	平成 28 年 12 月 26 日（月） 13 時 30 分～16 時 30 分
	場所	三重県庁 7 階 教育委員室（三重県津市広明町 13）
	内容	○報告 国指定等文化財の指定等について、国・県指定文化財の現状変更等について ○諮問 三重県指定文化財の指定等に関する諮問 ○審議 平成 28 年度三重県指定候補文化財の調査報告 平成 28 年度三重県指定候補文化財の指定について ○答申 平成 28 年度三重県指定文化財の指定等の答申

## II 県実施の調査・保護事業

### 1 特天 カモシカ 天然記念物食害対策事業

【事業費 6,425 千円 (国 2/3 4,283 千円、県 2,142 千円)】

#### (1) 紀伊山地カモシカ保護地域特別調査

おおむね 8 年に一度、カモシカの生息状況や生息環境を把握し、過去の特別調査結果との比較を行い、保護対策を検討するため実施する特別調査である。平成28年度は和歌山県教育委員会と奈良県山県教育委員会とで合同で実施した。業務の効率化等を図るため、関係 3 県の中から幹事県（和歌山県）を決め、幹事県が調査委託に関する事務及び指導委員会議等の運営に関する事務を一括している。

調査指導員	富田靖男（元三重県立博物館長・指導委員会議会議長） 武田明正（三重大学名誉教授） 山野直也（元日本カモシカセンター職員）		
調査委託	和歌山県		
指導委員会議	開催日	平成28年9月28日（水）、平成29年3月7日（火）	
	場所	橿原考古学研究所	

#### (2) 鈴鹿山地カモシカ保護地域通常調査

おおむね 8 年に一度実施されるカモシカ特別調査の補完のため、特別調査が実施されない年度に、カモシカの生息状況や生息環境の年次変化を把握するための調査である。平成28年度は、奈良県教育委員会と合同で実施した。

調査指導員	富田靖男（元三重県立博物館長・指導委員会議会議長） 武田明正（三重大学名誉教授） 山野直也（元日本カモシカセンター職員）			
現地調査員	いなべ市藤原町	坂倉 義行・近藤 恒三	菰野 町	満田 学・橋本 幸彦
	いなべ市北勢町	小森 良一・出口 幸雄	四日市市	棚瀬賢一郎・棚瀬 裕貴
	いなべ市大安町	岩花 正己・山田 忠俊	鈴鹿市	前田 有・前田 伸士
連絡会議	開催日	平成28年8月26日（金）	場所	菰野町役場

#### (3) 特別天然記念物カモシカ保護指導委員並びに保護行政担当者会議

特別天然記念物カモシカの保護地域内およびその周辺における生息状況・個体群の動態、食害状況等について情報収集を行うとともに、今後の施策、食害対策等について協議する会議で、文化庁と開催地の地方公共団体が主催している。平成28年度は徳島県（四国山地カモシカ保護地域）で開催された。

開催日	平成28年10月6日（木）・7日（金）	会場	神山温泉 ホテル四季の里 （徳島県名西郡神山町神領字本上角80-2）
参加者	富田靖男、武田明正、藤原良幸		

## 2 世界に誇る三重の文化財記録事業【事業費 2,008 千円（県 2,008 千円）】

### (1) 映像記録等作成活用事業

「鳥羽・志摩の海女漁の技術」の保存継承と魅力発信のため、過去に制作した映像記録を再編集したダイジェスト版「海とともに～鳥羽・志摩の海女～」(日本語版・英語版)を制作した。制作後はインターネット上で配信している。

制作監修	植木行宣(前三重県文化財保護審議会委員)・櫻井治男(皇學館大学特別教授) 古家信平(筑波大学教授)・小島孝夫(成城大学教授)・野村史隆(鳥羽市教育委員会) まくどなると・あん(上智大学教授)
制作委託	三重テレビエントープライズ株式会社

### (2) 三重・石川・福井3県海女漁合同パネル展

三重・石川・福井3県の海女漁及び関連する習俗について、各県で調査した結果やその魅力などをパネル等により共同展示し、一般県民等に、3県における海女漁の共通性や独自性などを含めた形で紹介することにより、海女漁の認知度向上を図るとともに、その重要性をアピールした。

開催期間	展示場所
平成28年11月18日～同27日	石川県庁
平成28年12月1日～同9日	坂井市役所
平成28年12月12日～同16日	福井県庁
平成29年1月6日～同15日	三重県立図書館
平成29年1月23日～同27日	松阪市役所
平成29年2月21日～同28日	ハイトピア伊賀
平成29年2月8日～同12日	東京・三重テラス

### (3) 指定無形民俗文化財現地公開連携委託事業

海女漁の現地公開にかかるビューポイントの調査を鳥羽・志摩海女保存会に委託した。

## 3 世界遺産熊野古道保存管理事業【事業費 500 千円（県 500 千円）】

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」(平成16.7.7登録)の良好な保全管理のため、文化庁、奈良県・和歌山県、関係市町と連携した取組を行った。

### (1) 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会【三重県負担金 220 千円】

#### ① 趣旨と構成

『世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会』(以下、三県協議会という)は、三重・奈良・和歌山の三県が、登録資産の保存・管理・活用の推進を目的に、平成17年度に設置した。会長・副会長・委員及び監事で組織されており、事務局は和歌山県(商工観光労働部観光振興課)に置かれている。三重県における役職の構成は、以下のとおり。

副会長 鈴木英敬(三重県知事)

委員 山口千代己(三重県教育委員会教育長)、河上敢二(熊野市長)、  
村島赳朗(紀北町教育委員会教育長)

監事 中嶋中(三重県教育委員会育成支援・社会教育担当次長)

#### ② 三県協議会総会

開催地 大阪府教育会館たかつガーデン(大阪府大阪市天王寺区)

開催日時 平成28年6月6日(月)15:00～17:00

議事内容 平成27年度の事業報告・決算・監査報告、平成28年度事業計画・予算案

事業計画 保全状況のモニタリング調査と保存管理の実施、専門委員会の開催運営、普及啓発活動(「紀伊山地の参詣道ルール」の周知)、シンボルマークの利用促進、「紀伊山地の霊場と参詣道」保存管理計画(改訂版)の作成

③ 三県協議会専門委員会

開催地 大阪府教育会館たかつガーデン（大阪府大阪市天王寺区）

開催日時 平成29年2月8日（水）13：30～16：30

議事内容 ・追加登録（軽微な変更提案）について（共通）  
・参詣道における適切な活用について（共通）  
・構成資産復旧工事の集成（H23台風12号被害の復旧状況）について（共通）

出席委員 小野健吉（奈良文化財研究所副所長）、  
櫻井敏雄（（公財）和歌山県文化財センター理事長）、  
高須英樹（和歌山県立自然博物館長）、  
西村幸夫（東京大学先端科学技術研究センター所長）、  
速水亨（速水林業代表）、山陰加春夫（高野山霊宝館副館長）

④ 第4回 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」行政担当者会議

開催地 三重県立熊野古道センター（三重県尾鷲市向井）

尾鷲市役所 北輪内センター（三重県尾鷲市三木里）

開催日 平成29年1月26日（水）・27日（木）

内容 基調講演「世界文化遺産の現状について」 岩村沙綾香（文化庁記念物課）  
講演1「熊野参詣道「伊勢路」をつなぐ」竹田憲治（三重県教育委員会）  
講演2「世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の軽微な変更提案について」  
仲原知之（和歌山県教育庁）  
講演3「奈良県における歴史文化資源活用の取り組み」  
大西勝治（奈良県地域振興部）

⑤ 「紀伊山地の霊場と参詣道」シンボルマークの使用届出

受理件数：1件

(2) 「吉野・熊野・高野の国」事業実行委員会

紀伊半島には世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」をはじめとして、豊かな歴史・文化・自然資源があり、紀伊半島の観光振興と地域活性化を図るためには、三重県、奈良県、和歌山県が広域的に連携し、これらの資源の積極的な活用で共同で取り組む必要があることから、平成22年7月に「吉野・熊野・高野の国」が建国された。事業実行委員会は、3県の観光、地域振興、文化財部局等により構成されている。

委員会においては、文化財保護の観点から、適切な活用が促進されるよう提言している。

(3) 県内の世界遺産保存管理

① 三重県世界遺産保全推進協議会幹事会

開催日時 第1回 平成28年5月26日（火）10：30～12：00

第2回 平成28年8月23日（火）10：30～12：30

場 所 県尾鷲庁舎

内 容 世界遺産熊野参詣道の保全にかかる課題

② 世界遺産講演会（熊野古道協働会議と共催）

開催日時 平成28年2月14日（日）13:00～15:00

場 所 三重県熊野庁舎（熊野市井戸町）

内 容 講演「紀伊山地の霊場と参詣道－その文化的景観の価値と保全のあり方－」  
西村幸夫（東京大学大学院教授）

## 4 史 県内遺跡 発掘調査等事業

【事業費 16,537 千円 (国 1/2 8,268 千円・県 1/2 8,269 千円)】

### (1) 県営ほ場整備事業地内遺跡発掘調査【事業費 4,453 千円 (国 1/2 2,226 千円・県 1/2 2,227 千円)】

県営ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査費のうち、農家負担分補助事業。

(県営ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査)

遺跡名	所在地	原因	期間	面積㎡	主要遺構、遺物
朝見遺跡ほか	松阪市立田町・和屋町	高度水利機能確保基盤整備事業	H28.4.20～ H28.10.17	4,401	埋設土器 3 基、竪穴住居 3 棟、方形周溝墓 1 基、掘立柱建物 7 棟、井戸 5 基、土坑・ピット多数、溝及び旧流路複数 石器、縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、陶器、磁器、製塩土器、鞆羽口、土錘、木製品、瓦等
起 A 遺跡	鈴鹿市安塚町	農地整備事業 (経営体形成型)	H29.2.13～ H29.3.9	550	土師器、陶器
との山遺跡	玉城町中角	農業用施設アスベスト対策事業	H28.9.15 ～ H29.1.23	769	竪穴住居、土坑、溝、ピット 石器、土師器、須恵器、陶器等
計				5,720	

### (2) 埋蔵文化財出土遺物保存処理【事業費 1,554 千円 (国 1/2 777 千円、県 1/2 777 千円)】

亀山市井田川茶臼山古墳出土の鉄製品のうち、劣化が進みつつあるものについて保存科学的処理を施し、その恒久保存を図る。

平成 28 年度は、合計 33 点の鉄鍬 (長頸鍬) および馬具の保存処理を実施。(処理受託 (公財) 元興寺文化財研究所)

### (3) 国史跡齋宮跡発掘調査【事業費 10,530 千円 (国 1/2 5,265 千円・県 1/2 5,265 千円)】

国史跡齋宮跡解明のために、史跡西部の「初期齋宮」想定地の実態を解明するための調査として、120 ㎡の計画調査 (第 189 次) を実施した。詳細は齋宮歴史博物館年報を参照されたい。

## 5 県内埋蔵文化財 地域の特色ある埋蔵文化財活用事業

【事業費 2,000 千円 (国 1/2 1,000 千円・県 1/2 1,000 千円)】

埋蔵文化財を題材とした教材を製作し、主に子どもたちを対象に学校等への出前講座や体験事業を実施して活用し、埋蔵文化財を通じて地域に根差した人材の育成や地域の魅力を引き出すことを目指した。

## 6 重文 三重県齋宮跡出土品 美術工芸品保存修理事業

【事業費 2,040 千円 (国 1/2 1,020 千円・県 1/2 1,020 千円)】

齋宮跡出土品について保存修理を行う。平成28年度は、緑釉陶器 2 点、白磁 1 点、墨書土器 7 点、土師器 1 点について、解体、クリーニング、強化処置、再接合、復元、補彩、及び銅製品 1 点の保存処理を行った。

修理委託 (株) 吉田生物研究所

### Ⅲ 文化財補助事業等

#### 1 国庫補助事業

##### (1) 建造物

事業者	(公財) 諸戸財団	事業名	重文 諸戸家住宅主屋ほか 5 棟建造物保存修理		
所在市町	桑名市	総事業費	2,540,290,300	総事業期間	H22-33
H28度事業額	265,000,000	国補助額	225,250,000	県補助額	19,875,000
事業内容	主屋ほか5棟の解体・半解体工事。 H28度：玄関及び座敷棟…仮設工事・基礎工事・屋根工事・木工事・左官工事・建具工事、 洋館棟…仮設工事・木工事・屋根工事・左官工事・建具工事・塗装工事、玉突場…仮設工事・ 基礎工事・木工事・屋根工事・左官工事・建具工事・塗装工事・構造補強工事				
備考	設計監理：(公財) 文化財建造物保存技術協会、 工事請負：(株) 竹中工務店三重営業所、高橋建設(株)：電気工事、(有) 熊谷産業：玉突場屋根工事				

事業者	宗教法人 神宮	事業名	重文 神宮祭主職舎本館 (旧慶光院客殿) 建造物保存修理		
所在市町	伊勢市	総事業費	65,146,000	総事業期間	H27-28
H28度事業額	27,619,000	国補助額	13,809,000	県補助額	2,761,000
事業内容	本館及び車寄せの修理				
備考	設計監理：(公財) 文化財建造物保存技術協会、工事請負：(株) 廣垣工務店				

事業者	日本貨物鉄道株式会社	事業名	重文 末広橋梁 (旧四日市港駅鉄道橋) 近代化遺産等重点保存修理		
所在市町	四日市市	総事業費	39,608,000	総事業期間	H28-29
H28度事業額	3,795,087	国補助額	1,897,000	県補助額	379,000
事業内容	歯車等の部分修理 (調査工事)				
備考	委託：(株) 文化財保存計画協会				

事業者	伊賀市	事業名	重文 俳聖殿 建造物防災施設等		
総事業費	86,799,880	総事業期間	H27-H28		
事業額	37,267,880	国補助額	18,603,000	県補助額	2,604,000
事業内容	消火設備、炎感知器、防犯カメラ、避雷設備設置				
備考	工事請負：ニッタン(株)、設計委託：永田設計事務所				

事業者	朝日町	事業名	登録 朝日町資料館（旧朝日村役場）文化財建造物等活用地域活性化（登録有形文化財）		
総事業費	55,951,775	総事業期間	H26-28		
H28度事業額	48,359,665	国補助額	22,625,000	県補助額	3,167,000
事業内容	耐震補強、便益設備整備				
備考	指導：菅原洋一（三重大学）、嶋村明彦（三重県文化財保護指導委員） 技術指導：(株)文化財構造計画 委託：(株)継承社 工事：白川建設株式会社				

事業者	津市	事業名	登録 旧明村役場庁舎文化財建造物等活用地域活性化（登録有形文化財）		
総事業費	55,150,537	総事業期間	H26-29		
H28度事業額	4,362,127	国補助額	2,181,000	県補助額	373,000
事業内容	耐震補強工事設計				
備考	技術指導：(株)文化財構造計画				

事業者	鳥羽市	事業名	登録 旧鳥羽小学校校舎文化財建造物等活用地域活性化（登録有形文化財）		
総事業費	643,208,758	総事業期間	H26-31		
H28度事業額	4,362,286	国補助額	12,499,000	県補助額	1,346,000
事業内容	耐震補強工事実施設計				
備考	委託：(株)藤川設計、技術指導：(株)文化財構造計画、				

## (2) 美術工芸品

事業者	亀山市	事業名	田中稻造家資料亀山市域近世近代 史料調査		
総事業費	8,994,000	総事業期間	H27-29		
H28度事業額	2,836,290	国補助額	1,414,000	県補助額	198,000
事業内容	関宿の商家の一つである田中稻造家伝来の史資料の悉皆調査。平成 28 年度は、専門委員会の指導のもと調査を実施し、文書約 7,300 点、民俗資料約 1,100 点について、調査項目のデジタルデータ化及び整理・目録化を行った。				
備考	専門委員：谷口昭（名城大学教授）、伊藤俊一（名城大学教授）、富田靖男（元三重県立博物館長）、藤原寛（元三重県立博物館長） 専門委員会：平成 28 年 8 月 6 日、平成 29 年 3 月 11 日				

事業者	松阪市	事業名	長谷川家資料 史料調査		
総事業費	24,500,000	総事業期間	H25-29		
H28度事業額	4,544,000	国補助額	2,272,000	県補助額	318,000
事業内容	第2次調査（第1次調査で残った文書・書籍類に加え、美術工芸品や生活道具類の調査・目録化）を行う。平成28年度は、指導委員会の指導のもと月6回程度調査を実施し、文書約11,900点、書籍・美術工芸品約250点、生活道具約1,020件について、調査カード化及びカードをもとに整理・目録化を行った。				
備考	指導委員：門暉代司（松阪市文化財保護審議会委員）、高倉一紀（皇學館大学教授）、塚本明（三重大学教授）、茂木陽一（三重短期大学教授）、中谷真弓（松阪市文化財保護審議会委員）、鈴木えりも（日本福祉大学知多半島総合研究所） 専門委員：藤原寛（元三重県立博物館長） 調査委員会：平成28年4月27日、平成29年2月3日				

事業者	宗教法人 専修寺	事業名	重文 専修寺聖教 美術工芸品保存修理		
所在市町	津市	総事業費	54,789,000	総事業期間	H21-35
H28度事業額	3,573,377	国補助額	1,786,000	県補助額	357,000
事業内容	専修寺聖教82点のうち、「観経序分義巻第二」・「皇太子聖徳奉賛」・「四十八大願」・「入出二門偈頌文」・「如来二種廻向文」・「善導和尚言」・「念仏者疑問」・「三部経大意」・「法然上人御消息」・「弥陀経義集」・「大阿弥陀経巻上」・「大阿弥陀経巻下」・「延書選択本願念仏集巻下本」・「延書選択本願念仏集巻下末」14点の修理を、平成27・28年度の2か年で実施し、完了した。				
備考	委託先：(株)松鶴堂				

事業者	松阪市	事業名	重文 松浦武四郎関係資料 美術工芸品保存修理		
総事業費	33,110,000	総事業期間	H25-30		
H28度事業額	4,834,000	国補助額	2,417,000	県補助額	338,000
事業内容	松浦武四郎関係資料のうち、「豆遊日誌」4冊・「夏景山水図」1幅の修理。				
備考	委託先：(株)坂田墨珠堂				

事業者	宗教法人 長隆寺	事業名	重文 木造薬師如来坐像 美術工芸品防災施設		
所在市町	伊賀市	総事業費	460,005	総事業期間	H28
H28度事業額	460,005	国補助額	299,000	県補助額	46,000
事業内容	故障したダイヤル式鍵の修理及び扉ハンドル破損の修理。既設の鍵撤去及び新規の鍵取り付け。				
備考	工事請負：鍵の店フルーツバスケット				

事業者	宗教法人 光善寺	事業名	重文 木造薬師如来及両脇侍像 美術工芸品保存活用整備		
所在市町	津市	総事業費	2,641,140	総事業期間	H28
H28度事業額	2,641,140	国補助額	1,584,000	県補助額	264,000
事業内容	重要文化財を収蔵している収蔵庫（昭和 36 年建設）の屋根瓦全面葺き替え。				
備考	工事請負：古谷瓦店				

### （３）無形文化財

事業者	伊勢型紙技術保存会	事業名	重無 伊勢型紙無形文化財（伝承）団体		
所在市町	鈴鹿市	総事業費		総事業期間	H5-
H28度事業額	11,600,000	国補助額	10,000,000	県補助額	700,000
事業内容	技術錬磨のため複製作品の作成や伝承者の養成のための研修会、関連産地の視察の実施、原材料（型地紙）や諸道具の確保を行い、技術の保存を図った。				
備考					

### （４）民俗文化財

事業者	桑名石取祭保存会	事業名	重無民 桑名石取祭の祭車行事民俗文化財伝承・活用等		
所在市町	桑名市	総事業費	51,964,000	総事業期間	H24-29
H28度事業額	10,252,000	国補助額	5,126,000	県補助額	1,025,000
事業内容	西船馬町祭車漆塗復元修理を行った。				
備考	指導委員：植木行宣（元京都学園大学教授）、長谷川嘉和（元滋賀県教育委員会）、 鬼頭秀明（中京大学非常勤講師）、水野耕嗣、村田信夫（OFFICE 萬瑠夢）、 藤井健三（元京都市産業技術研究所繊維技術センター研究部長） 保存伝承委員会：平成 28 年 4 月 22 日、6 月 17 日、10 月 7 日、平成 29 年 2 月 10 日 工事請負：（株）渡邊美術工藝				

事業者	上野文化美術保存会	事業名	重無民 上野天神祭のダンジリ行事民俗文化財伝承・活用等		
所在市町	伊賀市	総事業費		総事業期間	H28-
H28度事業額	4,500,078	国補助額	2,250,000	県補助額	450,000
事業内容	西町雪洞復元新調、徳居町太鼓台建具関係修理を行った。				
備考	審議会委員：植木行宣（元京都学園大学教授）、長谷川嘉和（元滋賀県教育委員会）、 村田信夫（OFFICE 萬瑠夢）、久保智康 藤井健三（元京都市産業技術研究所繊維技術センター研究部長） 審議会・監修会議：平成 28 年 6 月 11 日、9 月 29 日、11 月 29 日、平成 29 年 3 月 7 日 工事請負：（株）さわの道元、馬場建具店				

(5) 記念物

事業者	四日市市	事業名	史 久留倍官衙遺跡歴史生き活き！史跡等総合活用整備		
総事業費	358,036,000	総事業期間	H24-30		
H28度事業額	48,538,761	国補助額	23,086,000	県補助額	4,300,000
事業内容	史跡整備として、遺構整備・ガイダンス設備の施設の設置等を行う。 H28度はガイダンス施設展示造作や映像作成、正殿建設および遺構表示等の整備を行った。				
備考	<p>検討委員：山中章（三重大学名誉教授）、黒崎直（富山大学名誉教授）、 岡田登（皇學館大学教授）、伊藤久嗣（四日市市文化財保護審議会委員）、 箱崎和久（奈良文化財研究所都城発掘調査部遺構研究室長） 中川ゆかり（羽衣国際大学教授）、古市立美（久留倍遺跡運営委員会会長）、 中森ゆき子（四日市市文化振興に関する市民会議委員）</p> <p>検討委員会：平成28年8月26日、平成29年1月24日 業務委託：(有)ランダムハウス 工事請負：(有)岡田建設、(株)中日本建設</p>				

事業者	鈴鹿市	事業名	史 伊勢国分寺跡 歴史生き活き！史跡等総合活用整備		
総事業費	411,876,000	総事業期間	H20-30		
H28度事業額	37,000,000	国補助額	18,500,000	県補助額	2,590,000
事業内容	遺構明示兼休憩施設（四阿）および保存整備（貼芝）				
備考	<p>検討委員：伊藤久嗣（鈴鹿市文化財調査会委員）、加藤二三子（元鈴鹿市青少年育成市民会議会長）、 小岐須寛（国分町自治会長）、桐生悦夫（元河曲地区青少年育成町民会議会長）、 中島義晴（奈良文化財研究所）、箱崎和久（奈良文化財研究所）、 林紘（鈴鹿市考古博物館サポート会会長）、渡辺寛（皇學館大学名誉教授）、 朝倉由希（東京芸術大学非常勤講師）</p> <p>検討委員会：平成29年2月9日 工事請負：(株)浜口リビング、(株)中尾建設</p>				

事業者	松阪市	事業名	史 松坂城跡 歴史生き活き！史跡等総合活用整備		
総事業費	548,690,000	総事業期間	H26-35		
H28度事業額	6,000,000	国補助額	3,000,000	県補助額	420,000
事業内容	危険木・支障木の調査および伐採				
備考	<p>整備検討委員：千田嘉博（奈良大学学長）、門暉代司（松阪市文化財保護審議会委員）、 河北秀美（前三重県埋蔵文化財センター所長）、内田和伸（奈良文化財研究所）、 小澤毅（三重大学教授）</p> <p>検討委員会：平成28年7月11日、平成28年10月17日 業務委託：(株)空間文化開発機構、松阪飯南森林組合</p>				

事業者	伊賀市	事業名	史上野城跡 歴史活き活き！史跡等総合活用整備		
総事業費	197,650,000	総事業期間	H14-28		
H28度事業額	14,500,078	国補助額	7,250,000	県補助額	1,015,000
事業内容	城代屋敷地の遺構整備、発掘調査・整備報告書作成				
備考	指導委員：八賀晋（三重大学名誉教授）、増淵徹（京都橘大学教授）、高瀬要一（元奈良文化財研究所）、菅原洋一（三重大学教授） 指導委員会：平成28年11月16日 業務委託：(株)空間文化開発機構、(有)藤田印刷所、(株)正興印刷 工事請負：(株)河合振美堂、(有)アート工房、(株)高田工務店、総和技研工業				

事業者	伊賀市	事業名	史 旧崇広堂 歴史活き活き！史跡等総合活用整備		
総事業費	48,928,000	総事業期間	H18-28		
H28度事業額	10,840,000	国補助額	5,420,000	県補助額	758,000
事業内容	建物等土壁修理、便益施設・展示施設等改修工事、環境整備（樹木伐採・剪定）				
備考	指導委員：鈴木嘉吉（元奈良文化財研究所所長）、菅原洋一（三重大学教授）、高瀬要一（元奈良文化財研究所） 指導委員会：平成28年7月12日、指導委員会：平成29年3月9日 工事請負：(株)岡本住設、(株)中建築工務店、業務委託：タック設計室、(有)吉壽造園				

事業者	四日市市	事業名	史 久留倍官衙遺跡 史跡等買上げ（先行取得償還）		
総事業費	216,438,000	総事業期間	H23-32		
H28度事業額	26,671,000	国補助額	21,336,000	県補助額	1,866,000
事業内容	平成22年度先行取得した史跡地（18,303.26㎡）の経費償還。				
備考					

事業者	明和町	事業名	史 斎宮跡 史跡等買上げ（直接買上げ）		
総事業費	10,749,421,000	総事業期間	S54-H44		
事業額	176,304,900	国補助額	141,043,000	県補助額	26,445,000
事業内容	史跡指定範囲の公有地化				
備考					

事業者	明和町	事業名	史 斎宮跡 史跡等買上げ（先行取得償還）		
総事業費	433,474,000	総事業期間	H14-31		
H28度事業額	52,031,610	国補助額	41,623,000	県補助額	7,803,000
事業内容	平成19年度及び21年度に先行取得した史跡地の経費償還				
備考	平成19年度（5,743㎡）及び21年度（7,775㎡）				

事業者	(公財) 諸戸財団	事業名	名 諸戸氏庭園 歴史活き活き！史跡等総合活用整備		
所在市町	桑名市	総事業費	650,800,000	総事業期間	H20-34
H28度事業額	60,354,084	国補助額	30,175,000	県補助額	6,035,000
事業内容	庭園の修復整備。H28年度は溝渠護岸・石組築山の修復及び試掘調査、修復剪定、旧休憩室修理のⅠ期工事、工事完了後の写真測量等を行った。				
備考	指導委員：尼崎博正（京都造形芸術大学教授）、近藤久郎（桑名市教育委員会教育長）、 菅原洋一（三重大学教授）、高橋知奈津（奈良文化財研究所）、麓和善（名古屋工業大学大学院教授）、 花里利一（三重大学教授） 指導委員会：平成28年6月3日、12月21日、平成29年2月14日 業務委託：設計監理…（株）環境事業計画研究所、測量…（株）環境事業計画研究所 試掘調査…（株）文化財サービス 工事請負：修復剪定・溝渠護岸修復…植彌加藤造園（株）、建造物修理…（株）魚津社寺工務店				

事業者	菰野町	事業名	天 田光のシデコブシ及び湿地植物群落 歴史活き活き！史跡等総合活用整備		
総事業費	22,029,000	総事業期間	H27-28		
H28度事業額	6,642,918	国補助額	2,872,000	県補助額	402,000
事業内容	指定地内外の境界立会を実施し、境界標を設置する。				
備考	業務委託：公益社団法人 三重県公共嘱託登記土地家屋調査士協会				

事業者	大台町	事業名	特天 カモシカ 天然記念物食害対策		
総事業費	914,366,000	総事業期間	S56-		
H28度事業額	8,073,000	国補助額	5,382,000	県補助額	941,000
事業内容	カモシカ保護地域における食害対策用保護柵の設置。2カ所 柵総延長1107.7m（4.65ha）				
備考	委託先：宮川森林組合				

事業者	尾鷲市	事業名	特天 カモシカ 天然記念物食害対策		
総事業費	418,440,000	総事業期間	S58-		
H28度事業額	3,639,000	国補助額	2,426,000	県補助額	467,000
事業内容	カモシカ保護地域における食害対策用保護柵の設置。2カ所 柵総延長1524m（2.93ha）				
備考	委託先：森林組合おわせ				

事業者	紀北町	事業名	特天 カモシカ 天然記念物食害対策		
総事業費	379,924,000	総事業期間	S58-		
H28度事業額	6,648,000	国補助額	4,432,000	県補助額	816,000
事業内容	カモシカ保護地域における食害対策用保護柵の設置。3カ所 柵総延長 2,473m (3.73ha)				
備考	委託先：森林組合おわせ				

事業者	いなべ市	事業名	天 ネコギギ 天然記念物再生		
総事業費	30,148,174	総事業期間	H18-		
H28度事業額	2,033,174	国補助額	1,015,000	県補助額	142,000
事業内容	員弁川水系のネコギギ個体群再生のため、生息状況調査ならびに保護増殖を行う。H28度は市内の生息環境調査、保護増殖・飼育、再導入可能場所選定及び方再導入を行った。				
備考	指導委員：森誠一（岐阜経済大学教授）、渡辺勝敏（京都大学大学院准教授）、 田代喬（名古屋大学准教授）、里中知之（志摩マリンランド館長） 指導委員会：平成 28 年 6 月 6 日 飼育増殖委託：志摩マリンランド				

事業者	四日市市	事業名	天 御池沼沢植物群落 天然記念物再生		
総事業費	20,520,000	総事業期間	H23-28		
H28度事業額	2,060,030	国補助額	1,030,000	県補助額	144,000
事業内容	竹林侵入対策、樹木伐採・伐根、浚渫、東部指定地内観察路補修				
備考	指導委員：武田明正（三重大学名誉教授）、桐生定巳（学識経験者）、加田勝敏（学識経験者） 委託業者：カワサキグリーン（株）、藤谷造園（株）、（有）ミサキ建設				

事業者	亀山市	事業名	天 ネコギギ 天然記念物再生		
総事業費	8,008,888	総事業期間	H27-29		
H28度事業額	2,008,888	国補助額	1,000,000	県補助額	140,000
事業内容	鈴鹿川水系のネコギギ生息状況把握を続けながら、地域住民への普及啓発を行い、生息環境の再生につなげていく。H28度は安楽川のモニタリング及び河川環境調査を実施した。				
備考	指導委員：森誠一（岐阜経済大学教授）、渡辺勝敏（京都大学大学院准教授） 北村涼一（三重県総合博物館）、川北要始補（亀山市文化財保護審議会委員） 指導委員会：平成 28 年 9 月 2 日 生息調査委託：環境科学大阪株式会社 河川環境調査委託：環境科学大阪株式会社				

事業者	尾鷲市	事業名	天 須賀利大池及び小池 天然記念物再生		
総事業費	3,032,000	総事業期間	H28		
H28度事業額	3,032,000	国補助額	1,516,000	県補助額	224,000
事業内容	シカの食害からハマナツメ等の希少植物を守るため、食害防護柵の新設と既存の食害防護柵の更新を行った。				
備考	指導委員：山本和彦（学識経験者）、山下良澄（須賀利区役員）、藤井伸二（人間環境大学准教授） 委託業者：森林組合おわせ				

事業者	桑名市	事業名	天 多度のイヌナシ自生地 史跡等保存活用計画策定		
総事業費	14,519,946	総事業期間	H25-28		
H28度事業額	2,756,416	国補助額	1,378,000	県補助額	211,000
事業内容	H25～27 度に実施したイヌナシ自生地周辺の地形測量及び総合的な環境調査を基に、H28 度は3ヶ年の事業総括を行い、調査報告書を作成した。				
備考	指導委員：葛山博次（三重県生物多様性保全アドバイザー）、川添護（桑名市文化財保護審議委員）、 向井譲（岐阜大学教授）、水谷雅恒（NPO 法人 多度自然育成の会）、 加納昭夫（イヌナシ自生地地権者）、山冢和義（森林インストラクター） 指導委員会：平成 28 年 9 月 2 日、平成 29 年 1 月 26 日 委託業者：(株)地域環境計画名古屋支社				

事業者	名張市	事業名	特天 オオサンショウウオ 天然記念物緊急調査		
総事業費	22,014,208	総事業期間	H26-31		
H28度事業額	2,730,208	国補助額	1,365,000	県補助額	191,000
事業内容	赤目の峡谷とその周辺において、オオサンショウウオの生息調査と DNA サンプルング調査を行った。 また保護飼育のためのプール整備工事を行った。				
備考	指導委員：松井正文（京都大学大学院教授）、清水善吉（三重県文化財保護指導委員） 岡田純（日本ハンザキ研究所長）、 江川紫（日本サンショウウオセンター職員）、松月茂明 指導委員会：平成 28 年 8 月 12 日、平成 29 年 3 月 6 日 生息調査・保護飼育委託：三重自然誌の会、NPO 法人 赤目四十八滝溪谷保勝会 名張市文化遺産活性化実行委員会				

(6) 埋蔵文化財

事業者	鈴鹿市	事業名	市内遺跡発掘調査等		
総事業費	79,000,000	総事業期間	H24-33		
H28度事業額	9,000,000	国補助額	4,500,000	県補助額	1,050,000
事業内容	長者屋敷遺跡第35次、磐城山遺跡第9次、伊勢国府跡19報告書作成・刊行、市内遺跡の発掘調査（試掘・確認調査）：15件				
備考	指導委員：川越俊一（奈良文化財研究所名誉研究員）、伊藤久嗣（鈴鹿市文化財調査会委員）、金田章裕（人間文化研究機構機構長）、渡辺寛（皇學館大学名誉教授）、和田勝彦（文化財虫害研究所常務理事）				

事業者	亀山市	事業名	史市内遺跡発掘調査等		
総事業費	100,005,000	総事業期間	H17-36		
H28度事業額	2,123,280	国補助額	1,028,000	県補助額	291,000
事業内容	鈴鹿関跡：地形測量（1,000㎡）、市内遺跡の発掘調査（試掘・確認調査）：15件				
備考	測量委託：(株)イビソク				

事業者	津市	事業名	市内遺跡発掘調査等		
総事業費	200,688,000	総事業期間	H8-33		
H28度事業額	5,943,989	国補助額	2,971,000	県補助額	735,000
事業内容	多気北畠氏遺跡地形測量（5,400㎡）、H27度市内遺跡試掘・確認調査報告書作成・刊行、市内遺跡の確認調査（17件）、出土金属製遺物保存処理（59点）				
備考	指導委員：稲本紀昭（元京都女子大学教授）、金田章裕（京都大学名誉教授）、服部英雄（九州大学名誉教授）、藤澤良祐（愛知学院大学教授）、増淵徹（京都橘大学教授）、山中章（三重大学名誉教授）、渡辺寛（皇學館大学名誉教授） 保存処理委託：(公財)元興寺文化財研究所				

事業者	松阪市	事業名	市内遺跡発掘調査等		
総事業費	94,368,000	総事業期間	H12-38		
H28度事業額	3,968,000	国補助額	1,984,000	県補助額	462,000
事業内容	市内重要遺跡の確認調査（20件）及び久米南遺跡出土木製品9点の保存処理				
備考	保存処理委託：(株)吉田生物研究所				

事業者	明和町	事業名	町内遺跡発掘調査等		
総事業費	187,654,000	総事業期間	S54-H45		
H28度事業額	3,372,208	国補助額	1,500,000	県補助額	350,000
事業内容	町内遺跡の確認調査（8件）及び史跡斎宮跡平成27年度現状変更緊急発掘調査報告刊行				
備考					

事業者	志摩市	事業名	市内遺跡発掘調査等		
総事業費	35,733,000	総事業期間	H22-33		
H28度事業額	3,303,736	国補助額	1,650,000	県補助額	385,000
事業内容	市内重要遺跡の発掘調査（試掘3ヶ所）及び市内遺跡詳細分布調査（磯部町・志摩町の一部）、志島古墳群4号墳出土遺物保存処理（68点）				
備考	保存処理委託：（株）イビソク、（株）文化財サービス				

事業者	名張市	事業名	市内埋蔵文化財 地域の魅力ある埋蔵文化財活用		
総事業費	92,925,000	総事業期間	H26-29		
H28度事業額	14,641,312	国補助額	7,320,000	県補助額	1,053,000
事業内容	埋蔵文化財センター整備。旧小学校本館の収蔵庫・展示室・事務室への改修工事のうち、H28度は図書室・資料室・会議室の改装ならびに1階通路防火区画整備工事等を行った。				
備考	設計委託：GOTOエンジニア、 工事請負：（株）福山工務店、（株）安全警備、モリデン（株）、（株）カナリヤ電機				

### （7）重要伝統的建造物群保存地区

事業者	亀山市	事業名	重伝建 亀山市関宿 伝統的建造物群基盤強化		
総事業費	1,388,755,216	総事業期間	S60-		
H28度事業額	19,598,331	国補助額	9,591,000	県補助額	1,342,000
事業内容	土地買上、設計監理、伝建地区内の建物修理2件（半解体修理）・修景1件に関する間接補助				
備考	設計監理委託：中浦建築事務所、シンカイ設計				

### （8）指定文化財管理事業による間接補助

事業者	個人	事業名	重文 町井家住宅主屋及び書院 防災設備保守点検		
所在市町	伊賀市	総事業費	209,520	総事業期間	H28
H28度事業額	209,520	国補助額	-	県補助額	74,000
事業内容	防災設備（自動火災報知器、消火栓、避雷針等）の保守点検				
備考	点検業者：ニッタン（株）中部支社				

事業者	宗教法人 慈恩寺	事業名	重文 木造阿弥陀如来立像 防災設備保守点検		
所在市町	亀山市	総事業費	637,200	総事業期間	H28
H28度事業額	637,200	国補助額	-	県補助額	280,000
事業内容	防災設備（自動火災報知器、消火設備（加圧式））の保守点検、自家発電設備の修理				
備考	施工業者：(有)大森電機工業所				

事業者	合資会社 苗秀社	事業名	重文 旧松坂御城番長屋 保存修理		
所在市町	松阪市	総事業費	933,120	総事業期間	H28
H28度事業額	933,120	国補助額	-	県補助額	427,000
事業内容	西棟1の壁・床・雨樋の修理、及び雨戸等建具修理				
備考	施工業者：伊藤建設（株）				

## 2 県費補助事業

### (1) 建造物

事業者	宗教法人 春日神社	事業名	春日神社拝殿 保存修理		
所在市町	伊賀市	総事業費	269,905,106	総事業期間	H28-34
H28度事業額	10,881,012	国補助額	-	県補助額	5,440,000
事業内容	拝殿修理に伴う基本設計・実施設計				
備考	委託：継承社				

### (2) 美術工芸品

事業者	宗教法人 真巖寺	事業名	木造薬師如来坐像 保存修理		
所在市町	尾鷲市	総事業費	3,652,920	総事業期間	H27-28
H28度事業額	1,668,420	国補助額	-	県補助額	834,000
事業内容	木造薬師如来坐像の修理				
備考	委託：愛知仏像修復工房				

### (3) 記念物

事業者	日永地区連合自治会	事業名	日永の追分 環境整備		
所在市町	四日市市	総事業費	5,292,000	総事業期間	H28
H28度事業額	5,292,000	国補助額	-	県補助額	2,646,000
事業内容	史跡環境整備（鳥居建替等）				
備考	工事請負：(株)中村建設				

事業者	宗教法人 伊奈富神社	事業名	名 伊奈富神社庭園保存修理		
所在市町	鈴鹿市	総事業費	3,985,000	総事業期間	H27-30
H28度事業額	999,000	国補助額	-	県補助額	499,000
事業内容	庭園内の池及び島の修復。H28年度は庭園修復工事および危険木・支障木の伐採、整備前・整備後の測量・図化を行った。				
備考	業務委託：木楽				

#### (4) 地域文化財総合活性化事業

名称	事業主体	事業額	補助額	参加者数	内容
天 ネコギギ 天然記念物再生	十社小学校親師会	100,000	50,000	589	学習会
重文 諸戸家住宅主屋ほか5棟 建造物保存修理	(公財) 諸戸財団	216,000	108,000	117	パンフレット作成及び現場公開
名 諸戸氏庭園 歴史生き生き！史跡等総合活用整備	(公財) 諸戸財団	27,920	13,000	16	現場公開
天 多度のイヌナシ生地 史跡等保存活用計画策定	NPO 多度自然育成の会	100,135	50,000	100	イヌナシサミット及び保全活動
重無民 桑名石取祭の祭車行事 民俗文化財伝承・活用等	桑名石取祭保存会	183,906	91,000	100	地区のイベントでの体験学習
登録 朝日町資料館(旧朝日村役場)文化財建造物等活用地域活性化(登録有形文化財)	朝日町	35,104	17,000	35	工事現場公開
天 田光のシデコブシ及び湿地植物群落 歴史生き生き！史跡等総合活用整備	菰野町	26,300	13,000	16	講演会
史 久留倍官衙遺跡 歴史生き生き！史跡等総合活用整備	久留倍遺跡まつり実行委員会	153,510	75,000	350	古代衣装の製作・公開
史 久留倍官衙遺跡 史跡等買上げ(先行取得償還)	四日市市	25,474	10,000	461	講座及び展覧会
天 御池沼沢植物群落 天然記念物再生	四日市市	40,055	20,000	49	タケノコ掘会
重文 末広橋梁 近代化遺産等重点保存修理	日本貨物鉄道株式会社	34,334	15,000	120	パンフレット作成
日永の追分 環境整備	日永地区連合自治会	20,088	10,000	115	講座
史 伊勢国分寺跡 歴史生き生き！史跡等総合活用整備	鈴鹿考古博物館林 <sup>o</sup> ト会	20,165	10,000	709	講演会・コンサート等
史 市内遺跡 発掘調査等	鈴鹿市	201,511	100,000	622	体験発掘・講演会
名 伊奈富神社庭園 保存修理	伊奈富神社庭園七島池保存会	20,091	10,000	65	展示会

名 称	事 業 主 体	事業額	補助額	参加者数	内容
天 ネコギギ 天然記念物再生	亀山市	20,925	10,000	33	講義及びワークショップ
史 市内遺跡 発掘調査等	野村地区まちづくり協議会	41,988	20,000	78	講演会
重伝建 亀山市関宿 伝統的建造物群基盤強化	亀山市	24,113	12,000	80	展示会
田中稲蔵家資料 亀山市域近世近代史料調査	亀山市	119,639	58,000	357	展覧会開催
市内遺跡 発掘調査等	宗教法人 北畠神社	21,212	10,000	58	講演会
重文 専修寺聖教 美術工芸品保存修理	(宗) 専修寺	33,213	16,000	57	講演会
旧明村役場庁舎 文化財建造物等活用地域活性化(登録有形文化財)	津市	11,832	5,000	28	ウォークラリー
重文 木造薬師如来及両脇侍像 美術工芸品保存活用整備	宗教法人 光善寺	62,000	31,000	30	講演会
重文 松浦武四郎関係資料 美術工芸品保存修理	松浦武四郎記念館友の会	12,000	6,000	44	修理に関する講演会
市内遺跡 発掘調査等	松阪市	50,000	25,000	2,000	パンフレット作成
史 松坂城跡 歴史生き生き! 史跡等総合活用整備	松阪市	50,000	25,000	55	パンフレット作成及び説明会
長谷川家資料 史料調査	松阪市	50,000	25,000	226	パンフレット印刷 体験講座及び講演会
町内遺跡 発掘調査等	明和町	90,200	45,000	132	展示会
史 斎宮跡 史跡等買上げ(直接買上げ)	(公財) 国史斎宮跡保存協会	128,584	60,000	154	体験
史 斎宮跡 史跡等買上げ(先行取得償還)	明和町	21,757	10,000	345	紙芝居公開
重文 神宮祭主職舎本館(旧慶光院客殿) 建造物保存修理	宗教法人 神宮	27,000	5,000	151	文化財の見学会
登録 旧鳥羽小学校校舎 文化財建造物等活用地域活性化(登録有形文化財)	鳥羽市	60,015	30,000	54	講演会
市内遺跡 発掘調査等	志摩市	237,600	63,000	1,000	パンフレット作成
真巖寺 木造薬師如来坐像 保存修理	宗教法人 真巖寺	95,320	47,000	80	修理に関する講演会
天 須賀利大池及び小池 天然記念物再生	尾鷲市	31,380	15,000	21	講座
史 上野城跡 歴史生き生き! 史跡等総合活用整備	伊賀市	176,196	88,000	2,075	スタンプラリー・文化財ウォーク

名 称	事 業 主 体	事業額	補助額	参加者数	内容
史 旧崇広堂 歴史生き生き！史跡等総合活用整備	伊賀市	40,000	20,000	30	体験・展示
重無民 上野天神祭のダンジリ行事 民俗文化財伝承・活用等	上野文化美術保存会	100,000	40,000	148	講演会・体験会
重文 俳聖殿 建造物防災施設等	伊賀市	16,799	8,000	10	防災設備説明会
重文 木造薬師如来坐像 美術工芸品 防災施設	宗教法人 長隆寺	32,400	16,000	1,000	パンフレット作成
春日神社拝殿 保存修理	宗教法人 春日神社	14,087	7,000	32	講演会
市内埋蔵文化財 地域の特色ある埋蔵 文化財活用	名張市	63,480	31,000	356	体験講座
天 オオサンショウウオ 天然記念物 緊急調査	名張市	30,395	15,000	172	学習会
活用事業	43	2,393,371	1,335,000	8,447	

### 3 民間団体による助成

民間団体による文化財保護助成事業として、市町の推薦を受けた文化財保護事業について推薦を行い、下記の団体が助成を受けた。

助成団体	助成先	所在市町	助成額	事業内容
(公財) 明治安田クオリティオブライフ文化財団	牛蒡祭保存会	津市	170,000	装束の新規購入
(財) 沖永文化振興財団	立阪神社獅子保存会	四日市市	200,000	装束・用具の新規購入

## IV 文化財の管理・普及

### 1 登録審査

#### (1) 銃砲刀剣類

審査日：平成 28 年 6 月 14 日、8 月 2 日、10 月 4 日、12 月 13 日、平成 29 年 2 月 28 日

実施場所：県庁舎会議室（津市桜橋）

審査委員：

小川保生（日本美術刀剣保存協会三重県支部理事）  
 後藤静一（日本美術刀剣保存協会三重県支部）  
 中西 勤（日本美術刀剣保存協会三重県支部理事）  
 早川繁一（日本美術刀剣保存協会三重県支部長）  
 東世古晃弘（日本美術刀剣保存協会三重県支部理事）  
 福井款彦（日本美術刀剣保存協会三重県支部副支部長）

	刀剣類	銃砲類	合計
新規登録数	280 件	19 件	299 件
登録証再交付数	52 件	4 件	56 件
製作承認件数	1 件	—	1 件
所有者変更数	742 件	66 件	808 件
登録証返納数 （輸出返納含む）	69 件	1 件	70 件

#### (2) 天然記念物 紀州犬

審査日：平成 28 年 6 月 19 日

実施場所：結城神社境内（津市藤方）

審査員：岸川徳成（社団法人日本犬保存会審査員・同三重支部支部長）

木村二三利（社団法人日本犬保存会審査員・同三重支部副支部長）

尾上紀彦（社団法人日本犬保存会審査員・同三重支部専務委員）

登録番号	犬名	性別	登録日	所有者住所
823	阿波鉄春姫	雌	H28.7.1	松阪市

#### (3) 天然記念物 日本鶏

審査日：平成 28 年 6 月 11 日

実施場所：齋宮歴史博物館

審査員：富田靖男（元三重県立博物館長）

西川祥一（日本家禽会三重県支部長、天然記念物三重県五鶏保存会会長）

佐々木健二（三重県農林水産部畜産課）

登録番号	鶏種	内種	性別	登録日	所有者住所
1004	河内奴鶏	五色種	番	H28.7.1	度会郡玉城町
1005	小国鶏	白色種	番	H28.7.1	度会郡玉城町

## 2 文化財の管理

### (1) 文化財パトロール

県内における指定文化財及び埋蔵文化財包蔵地の管理、保存状況を把握し、適切な処置を講じて文化財保護に万全を期するために、三重県文化財保護指導委員（48名）を任命して巡視活動等を行っている。巡視活動の報告は、随時、社会教育・文化財保護課に行われ、当課では写しを当該市町教育委員会に送付し、行政対応を行っている。

担当地区	保護指導委員名	担当分野	市町名	実施件数
県内全域	嶋村明彦・大城哲也	建造物		
	山野直也・清水善吉・中野環	天然記念物		
北勢	蒔田英彦・久安典之・大森尚子	建造物	桑名市	11
			いなべ市	2
			木曽岬町	0
	松本寛・渡辺尚登・浅尾悟	埋蔵文化財	東員町	0
			四日市市	4
			菰野町	2
			朝日町	0
	川添護・桐生定巳	天然記念物	川越町	0
			鈴鹿市	9
亀山市			5	
中勢	山田幸三	建造物	津市	10
	瀧川和也・藤田直信	彫刻	松阪市	14
	浅生悦生・林和範・西田尚史・増田安生・奥義次・縣拓也	埋蔵文化財	多気町	3
			明和町	1
西川浩之・中優・川岸悟・高松隆吉・杉澤学	天然記念物	大台町	3	
南勢	松月久和・東原達也	建造物	伊勢市	2
	藤田直信	彫刻	鳥羽市	9
	奥義次・縣拓也・村上喜雄・山本達也・北畠充生	埋蔵文化財	玉城町	0
			度会町	2
			南伊勢町	1
	中優	天然記念物	大紀町	1
志摩市			14	
伊賀	滝井利彰・岩見勝由	建造物	伊賀市	20
	瀧川和也	彫刻		
	寺岡光三・市田進一・大花健生	埋蔵文化財	名張市	10
	杉澤学	天然記念物		
紀勢・東紀州	宮原良雄	建造物	尾鷲市	16
	岩本直樹・福村直昭	建造物・彫刻	紀北町	35
	東浩成・福村直人	埋蔵文化財	熊野市	27
	山本和彦・更屋好年	天然記念物	御浜町	2
	向井弘晏・西村功・植松元夫・東公雄	熊野参詣道	紀宝町	2

## (2) 文化財保護にかかる会議

### ① 三重県文化財保護連絡会議・三重県文化財保護指導委員会議

県内における指定文化財及び埋蔵文化財などの保護行政を一層充実させるため、市町教育委員会文化財保護行政担当者、三重県文化財保護指導委員との打ち合わせ及び協議を実施した。

地区	日時	開催場所	内容
北勢・中勢・伊賀	4月22日(金) 13:30~16:30	県四日市庁舎	平成28年度文化財保護事業の概要 指定文化財に関する事務手続き等 文化財パトロールの実施
中勢(松阪)・南勢	5月9日(月) 13:30~16:30	県松阪庁舎	
尾鷲・熊野	4月26日(火) 13:30~16:30	県尾鷲庁舎	

### ② オオサンショウウオ保護連絡会議

オオサンショウウオの保護管理について、県関係部局および関係市町に周知するとともに、研究者からの助言を得て保護管理についての情報を共有するため、会議を開催した。

日 時	平成29年2月17日(金) 13:30~17:00	場 所	名張市立図書館2階視聴覚室
講 演	「大分県宇佐市におけるオオサンショウウオ保護の取組みについて」 宇佐市教育委員会社会教育課文化財係 竹村 雄太		
報 告 事 項	○オオサンショウウオ保全対策について 三重県伊賀建設事務所(流域課・保全課)、三重県津建設事務所(道路二課) 伊賀市建設部建設2課、独立行政法人水資源機構川上ダム建設所 国土交通省近畿地方整備局木津川上流河川事務所、奈良県宇陀土木事務所、伊賀市教育委員会 ○オオサンショウウオ緊急調査について 名張市教育委員会・宇陀市教育委員会		
助 言 者	松井 正文(京都大学教授)、富田 靖男(元三重県立博物館長) 佐藤 孝則(天理大学おやさと研究所 教授)、清水 善吉(三重自然誌の会事務局) 松月 茂明(元日本サンショウウオセンター学芸員)		

### ③ ネコギギ保護連絡会議

ネコギギの保護管理について、県関係部局および関係市町に周知するとともに、研究者からの助言を得て保護管理についての情報共有を行うため、会議を開催した。

日 時	平成29年3月1日(水) 13:30~17:00	場 所	三重県伊勢庁舎 第401会議室
講 演	「淀川水系における天然記念物イタセンパラの保全活動」 大阪府立環境農林水産総合研究所 上原 一彦		
事 例 報 告	○現状変更等事例報告 桑名建設事務所、鈴鹿建設事務所、津建設事務所、松阪建設事務所、伊勢建設事務所、 国土交通省紀勢国道事務所、中日本高速道路株式会社 ○亀山市ネコギギ再生事業について 亀山市文化庁 ○いなべ市ネコギギ緊急調査事業について いなべ市教育委員会 ○平成28年度ネコギギ生息状況調査報告 三重県教育委員会		
助 言 者	森誠一(岐阜経済大学教授)、渡辺勝敏(京都大学大学院准教授)、 佐川志朗(兵庫県立大学大学院准教授)、田代喬(名古屋大学減災連携研究センター准教授)		

### ④ オオダイガハラサンショウウオ学習会

オオダイガハラサンショウウオの保護について関係者の理解を深めるため、三重森林管理署、三重県農林水産部、三重県で協働して、学習会を開催した。



日 時	平成28年7月26日(火)12:30~14:30	場 所	大杉谷国有林千尋峠(多気郡大台町大杉)
内 容	オオダイガハラサンショウウオの生態について調査するとともに、幼生個体の現地視察を実施した。		



(4) 埋蔵文化財の発見

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見日	通知日
土師器、土師器、須恵器、陶器、磁器	1	多気郡明和町大字斎宮字西前沖	史跡斎宮跡	三重県	明和町長	斎宮歴史博物館	H28.4.5	H28.4.8
土師器、陶磁器、瓦	1	多気郡明和町竹川	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H28.4.5	H28.4.8
土師器、須恵器、陶器	1	多気郡明和町大字斎宮字広頭地内	史跡斎宮跡	三重県	明和町長	斎宮歴史博物館	H28.4.5	H28.4.8
土師器、陶器	1	多気郡明和町大字斎宮字柳原地内	史跡斎宮跡	三重県	明和町長	斎宮歴史博物館	H28.4.5	H28.4.8
土師器、陶器、陶磁器	1	多気郡明和町大字斎宮字鈴池	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H28.4.5	H28.4.8
土師器、須恵器	2	多気郡明和町大字斎宮	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H28.4.5	H28.4.8
土師器	1	多気郡明和町大字斎宮字楽殿地内	史跡斎宮跡	三重県	明和町長	斎宮歴史博物館	H28.4.5	H28.4.8
土師器、陶器	1	多気郡明和町大字斎宮字楽殿地内	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H28.4.5	H28.4.8
土師器	1	多気郡明和町大字竹川字古里地内	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H28.4.5	H28.4.8
土師器、須恵器	2	多気郡明和町大字斎宮字内山地内	史跡斎宮跡	三重県	明和町長	斎宮歴史博物館	H28.4.5	H28.4.8
土師器、須恵器、陶器、製塩土器、陶磁器、石器、鉄製品	4	多気郡明和町大字斎宮字牛葉	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H28.4.5	H28.4.8
土師器	1	多気郡明和町大字竹川地内	史跡斎宮跡	三重県	三重県知事	斎宮歴史博物館	H28.4.5	H28.4.8
土師器、須恵器、陶器、	6	多気郡明和町大字斎宮字楽殿	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H28.4.5	H28.4.8
土師器、須恵器、陶器、磁器、製塩土器、土製品	9	多気郡明和町大字斎宮字東前沖	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H28.4.5	H28.4.8
土師器、須恵器、陶器、磁器、製塩土器、土製品、石器	36	多気郡明和町斎宮字下園	史跡斎宮跡	三重県	明和町長	斎宮歴史博物館	H28.4.27	H28.4.27
縄文土器、土師器、須恵器、陶器、磁器、瓦、木製品、石器	119	松阪市和屋町、立田町地内	朝見遺跡	三重県	朝見上土地改良区理事長	三重県埋蔵文化財センター	H28.11.7	H28.11.11
土師器、須恵器	3	松阪市嬉野釜生田町地内	弥五郎垣内遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H28.12.2	H28.12.7
縄文土器、土師器、陶磁器	2	松阪市和屋町地内	朝見遺跡	三重県	朝見上土地改良区理事長	三重県埋蔵文化財センター	H28.12.6	H28.12.12
土師器、陶器	1	度会郡大紀町野添地内	野添大辻遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H28.12.8	H28.12.12
陶器、磁器、瓦等	1	鈴鹿市末広北1丁目	石垣遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	H28.9.8	H28.9.12
縄文土器、石器	22	三重郡菟野町大字音羽地内	鈴山遺跡	三重県	中日本高速道路株式会社	三重県埋蔵文化財センター	H28.10.4	H28.10.4
陶器、土師器、瓦等	1	鈴鹿市北玉垣町	小塚遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	H28.12.19	H28.12.21
土師器、陶器	1	津市野田地内	梁瀬遺跡	三重県	津市長	三重県埋蔵文化財センター	H29.1.19	H29.1.23

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見日	通知日
石器、土師器、須恵器、陶器、鉄製品	61	度会郡玉城町中角	との山・アレキリ遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H29.2.13	H29.2.13
土師器、須恵器、陶器、磁器、瓦器、製塩土器、土製品、鉄製品	60	多気郡明和町斎宮字広頭	史跡斎宮跡	三重県	明和町長	斎宮歴史博物館	H29.2.17	H29.2.17
土師器、陶器、磁器、瓦、木製品	40	松阪市本町	松坂城下町遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H29.3.9	H29.3.9
土器、陶器、石器	3	松阪市嬉野川原木造町字久保	川原木造遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	H29.3.7	H29.3.9
縄文土器、陶磁器	1	いなべ市北勢町大字向平字四辻	四辻遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	H29.3.22	H29.3.22

### (5) 埋蔵物の文化財認定

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見日	認定日	認定者
土師器、須恵器	1	津市安濃町川西	藤ヶ森城跡	津市教育委員会教育長	個人	津市教育委員会	H28.3.10	H28.4.6	三重県教育委員会
瓦	1	鈴鹿市広瀬町字荒子	史跡 伊勢国府跡（長者屋敷遺跡）（第34次）	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H28.3.30	H28.4.21	三重県教育委員会
陶器、土師器、木片	1	鈴鹿市国府町字平井	伊勢国府推定地	鈴鹿市長	特定非営利法人心結舎理事長	鈴鹿市考古博物館	H28.3.30	H28.4.21	三重県教育委員会
弥生土器、土師器、須恵器、石器	8	鈴鹿市木田町	盤城山遺跡第8-2次	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H28.3.30	H28.4.21	三重県教育委員会
瓦	1	鈴鹿市国府町	史跡 伊勢国府跡（長者屋敷遺跡）（第34次）	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H28.4.26	H28.5.16	三重県教育委員会
瓦、土師器、須恵器、陶器、磁器	1	鈴鹿市広瀬町字南野	伊勢国分寺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H28.3.30	H28.4.21	三重県教育委員会
陶器	4	鈴鹿市国府町字西高木	国分東遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H28.3.31	H28.4.21	三重県教育委員会
土師器、須恵器、陶器、石製品	4	鈴鹿市郡山町字広山	塚腰遺跡（第3次）	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H28.5.9	H28.5.23	三重県教育委員会
土師器、須恵器、陶器	2	津市垂水字丸山	垂水丸山遺跡（H27-1次）	津市教育委員会教育長	津市長	津市埋蔵文化財センター	H28.5.6	H28.5.20	三重県教育委員会
埴輪	1	津市垂水字千歳	桜の台古墳（H27-1次）	津市教育委員会教育長	津市長	津市埋蔵文化財センター	H28.5.6	H28.5.20	三重県教育委員会
弥生土器	1	鈴鹿市岡田三丁目	岡田南遺跡（範囲確認調査）	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H28.5.18	H28.5.30	三重県教育委員会
土師器、陶器、磁器	1	津市美杉町上多気	多気北畠氏遺跡馬場地区（H27-1次）	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H28.5.16	H28.6.1	三重県教育委員会

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見日	認定日	認定者
土師器、須恵器	1	津市高茶屋一丁目	北垣内遺跡(H27-1次②)	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H28.5.16	H28.6.1	三重県教育委員会
弥生土器、土師器、須恵器、陶器	1	鈴鹿市徳居町字奥北代	三宅城跡(試掘調査)	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H28.5.27	H28.6.16	三重県教育委員会
陶器・窯体片	1	伊賀市楨山字根組原	弥八山窯跡	伊賀市教育委員会教育長	個人	伊賀市教育委員会	H28.5.24	H28.6.16	三重県教育委員会
須恵器	1	津市安濃町川西	藤ヶ森城跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H28.5.25	H28.6.16	三重県教育委員会
弥生土器、陶器	1	鈴鹿市徳居町字北山	長法寺遺跡(試掘調査)	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H28.5.27	H28.6.16	三重県教育委員会
弥生土器、土師器、須恵器	1	津市一志町片野字北浦	片野遺跡(H28-2次)	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H28.6.9	H28.6.20	三重県教育委員会
土師器	1	津市白山町川口字二川	関ノ宮遺跡(H28-1次)	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H28.6.24	H28.7.11	三重県教育委員会
弥生土器	1	津市新家町字松ノ中	岸橋遺跡(H28-1次)	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H28.6.29	H28.7.11	三重県教育委員会
瓦、陶器、磁器	1	松阪市本町	松坂城下町遺跡	松阪市教育委員会教育長	松阪市長	松阪市教育委員会	H28.6.18	H28.7.15	三重県教育委員会
土師器	1	松阪市保津町	(仮称)館ノ前遺跡	松阪市教育委員会教育長	個人	松阪市教育委員会	H28.6.18	H28.7.15	三重県教育委員会
土師器、古銭	1	松阪市殿町	松坂城跡	松阪市教育委員会教育長	宗教法人松阪神社	松阪市教育委員会	H28.6.18	H28.7.15	三重県教育委員会
陶器	1	松阪市嬉野新屋庄町	赤部遺跡	松阪市教育委員会教育長	個人	松阪市教育委員会	H28.6.18	H28.7.15	三重県教育委員会
陶器・須恵器	1	松阪市深長町	本堂遺跡	松阪市教育委員会教育長	個人	松阪市教育委員会	H28.6.18	H28.7.15	三重県教育委員会
土師器	1	松阪市嬉野島田町	上野垣内遺跡	松阪市教育委員会教育長	個人	松阪市教育委員会	H28.6.18	H28.7.15	三重県教育委員会
陶器	1	松阪市大黒田町	新田町遺跡	松阪市教育委員会教育長	個人	松阪市教育委員会	H28.6.18	H28.7.15	三重県教育委員会
土師器、陶器、磁器	21	松阪市魚町	松坂城下町遺跡	松阪市教育委員会教育長	個人	松阪市教育委員会	H28.6.18	H28.7.15	三重県教育委員会
瓦、陶器、磁器	32	松阪市殿町	松坂城跡	松阪市教育委員会教育長	財務省	松阪市教育委員会	H28.6.18	H28.7.15	三重県教育委員会
弥生土器、縄文土器、石製品	4	鈴鹿市岡田三丁目	岡田南遺跡(第3次)	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H28.6.28	H28.7.15	三重県教育委員会
陶器	1	伊賀市石川字中山	中山寺院跡	伊賀市教育委員会教育長	宗教法人清来寺	伊賀市教育委員会	H28.6.30	H28.7.15	三重県教育委員会
土師器、須恵器	1	津市一志町片野字北浦	片野遺跡(H28-2次②)	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H28.8.1	H28.8.31	三重県教育委員会

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見日	認定日	認定者
土師器	1	津市安濃町川西	世古遺跡 (H28-1次)	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H28.8.8	H28.8.31	三重県教育委員会
土師器	1	鈴鹿市国分町	国分東遺跡 (立会い)	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H28.9.27	H28.10.17	三重県教育委員会
土師器、須恵器、陶器	1	津市大里窪田町字中鷲	窪田遺跡 (H28-1次)	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H28.10.31	H28.11.21	三重県教育委員会
陶器	1	津市安濃町連部字ゆふけ	ゆふけ遺跡 (H27-1次③)	津市教育委員会教育長	津市長	津市埋蔵文化財センター	H28.11.22	H28.12.9	三重県教育委員会
土師器・須恵器・陶器	36	四日市市西坂部町字山添	川向山添遺跡	四日市市教育委員会教育長	国土交通省	四日市市教育委員会文化財整理作業所	H28.11.18	H28.12.9	三重県教育委員会
土師器、須恵器	1	鈴鹿市須賀一丁目	須賀遺跡 (範囲確認調査)	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H29.1.25	H29.2.10	三重県教育委員会
縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、陶器、磁器、瓦、木製品、石製品、金属製品	74	鈴鹿市十宮四丁目	十宮古里遺跡第6次	鈴鹿市長	鈴鹿市長	鈴鹿市考古博物館	H29.2.6	H29.2.27	三重県教育委員会
土師器、陶器、瓦	1	津市丸之内	津城跡 (H28-11次)	津市教育委員会教育長	有限会社ディー・ディー・エス	津市埋蔵文化財センター	H29.2.23	H29.3.10	三重県教育委員会
土器	1	志摩市阿児町国府字上ノ東	国府貝塚	志摩市教育委員会教育長	個人	志摩市教育委員会収蔵庫	H29.2.8	H29.3.21	三重県教育委員会

## (6) 出土文化財の譲与

譲与日	申請者	譲与文化財の名称	箱数	発見場所	遺跡名	発見日
H28.5.19	鈴鹿市長	土師器、須恵器、銅銭、鉄製品	1	鈴鹿市木田町字赤兀	大谷古墳 (第1次)	H27.10.5
H28.5.19	鈴鹿市長	弥生土器、土師器、須恵器、陶器、獣骨	6	鈴鹿市十宮三丁目	宮ノ前遺跡 (第4次)	H27.10.6
H28.5.26	四日市市教育委員会教育長	弥生土器等	2	四日市市尾平町	永井遺跡	H27.1.13
H28.5.31	鈴鹿市長	土師器、須恵器、陶器、磁器、陶器、瓦、石製品、土製品	5	鈴鹿市若松西二丁目	土師南方遺跡 (第2次)	H27.10.19
H28.6.8	津市教育委員会教育長	土師器、須恵器、陶器	1	津市栄町一丁目	四天王寺廃寺 (H27-1次)	H27.10.8
H28.6.8	津市教育委員会教育長	土師器、陶器、瓦	1	津市栄町一丁目	四天王寺廃寺 (H27-1次②)	H27.11.18
H28.7.14	鈴鹿市長	弥生土器、土師器、須恵器、石器	32	鈴鹿市木田町字西條	磐城山遺跡 (第8次)	H27.11.24
H28.9.20	鈴鹿市長	弥生土器、土師器、須恵器、陶器、磁器、木製品、	45	鈴鹿市十宮四丁目	十宮古里遺跡 (第5次)	H28.2.9
H28.9.20	鈴鹿市長	土師器、須恵器、磁器、陶器、瓦、磁器、石板、ガラス瓶	2	鈴鹿市稲生町	伊奈富神社遺跡	H27.10.13
H28.9.28	津市教育委員会教育長	瓦、土師器、陶器、磁器	22	津市久居西鷹跡町	久居城下町遺跡第11次・巽ヶ丘遺跡	H27.11.18
H28.9.28	津市教育委員会教育長	縄文土器	1	津市新家町地内	木造赤坂遺跡 (H27-3次)	H27.12.28

譲与日	申請者	譲与文化財の名称	箱数	発見場所	遺跡名	発見日
H28.11.21	鈴鹿市長	弥生土器、土師器、須恵器、石器	8	鈴鹿市木田町	磐城山遺跡第8-2次	H28.3.30
H28.11.21	鈴鹿市長	瓦、土師器、須恵器、陶器、磁器	4	鈴鹿市国分町西高木	伊勢国分寺跡	H28.3.31
H28.11.21	鈴鹿市長	瓦	1	鈴鹿市広瀬町字荒子	史跡 伊勢国府跡（長者屋敷遺跡）	H28.3.30
H28.11.21	鈴鹿市長	陶器、土師器、木片	1	鈴鹿市国府町字平井	伊勢国府推定地	H28.3.30
H28.11.21	鈴鹿市長	瓦	1	鈴鹿市広瀬町字南野	史跡 伊勢国府跡（長者屋敷遺跡）	H28.3.30
H29.1.30	津市教育委員会教育長	土師器	1	津市高茶屋一丁目	北垣内遺跡（H27-1次）	H28.2.23
H29.1.30	津市教育委員会教育長	弥生土器、土師器、陶器	1	津市安濃町連部字ゆふけ	ゆふけ遺跡（H27-2次）	H28.3.18
H29.1.30	津市教育委員会教育長	土師器、須恵器	1	津市安濃町川西	藤ヶ森城跡	H28.3.16
H29.1.30	津市教育委員会教育長	土師器、須恵器、陶器	2	津市垂水字丸山	垂水丸山遺跡（H27-1次）	H28.5.6
H29.1.30	津市教育委員会教育長	埴輪	1	津市垂水字千歳	桜の台古墳（H27-1次）	H28.5.6
H29.1.30	津市教育委員会教育長	土師器、陶器、磁器	1	津市美杉町上多気	多気北畠氏遺跡馬場地区（H27-1次）	H28.5.16
H29.1.30	津市教育委員会教育長	土師器、須恵器	1	津市高茶屋一丁目	北垣内遺跡（H27-1次②）	H28.5.16
H29.1.30	津市教育委員会教育長	須恵器	1	津市安濃町川西	藤ヶ森城跡	H28.5.25
H29.1.30	津市教育委員会教育長	弥生土器、土師器、須恵器	1	津市一志町片野字北浦	片野遺跡（H28-2次）	H28.6.9
H29.2.21	津市教育委員会教育長	土師器	1	津市白山町川口字二川	関ノ宮遺跡（H28-1次）	H28.6.24
H29.2.21	津市教育委員会教育長	弥生土器	1	津市新家町字松ノ中	岸橋遺跡（H28-1次）	H28.6.29
H29.2.21	鈴鹿市長	陶器	1	鈴鹿市国分町	国分東遺跡（工事立会）	H28.4.26
H29.2.21	鈴鹿市長	弥生土器、縄文土器、石製品	4	鈴鹿市岡田町三丁目	岡田南遺跡（第3次）	H28.6.28
H29.2.21	鈴鹿市長	土師器、須恵器、陶器、石製品	4	鈴鹿市郡山町字広山	塚腰遺跡（第3次）	H28.5.9
H29.2.21	鈴鹿市長	弥生土器、陶器	1	鈴鹿市徳居町字北山	長法寺遺跡（範囲確認調査）	H28.5.27
H29.2.21	鈴鹿市長	弥生土器、土師器、須恵器、陶器	1	鈴鹿市徳居町字奥北代	三宅城跡（範囲確認調査）	H28.5.27
H29.2.21	鈴鹿市長	弥生土器	1	鈴鹿市岡田町三丁目	岡田南遺跡（範囲確認調査）	H28.5.18
H29.3.7	松阪市教育委員会教育長	瓦、陶器、磁器	1	松阪市本町	松坂城下町遺跡	H28.6.18
H29.3.7	松阪市教育委員会教育長	土師器	1	松阪市保津町	（仮称）館ノ前遺跡	H28.6.18
H29.3.7	松阪市教育委員会教育長	土師器、古銭	1	松阪市殿町	松坂城跡	H28.6.18
H29.3.7	松阪市教育委員会教育長	陶器	1	松阪市嬉野新屋庄町	赤部遺跡	H28.6.18
H29.3.7	松阪市教育委員会教育長	陶器・須恵器	1	松阪市深長町	本堂遺跡	H28.6.18
H29.3.7	松阪市教育委員会教育長	土師器	1	松阪市嬉野島田町	上野垣内遺跡	H28.6.18
H29.3.7	松阪市教育委員会教育長	陶器	1	松阪市大黒田町	新田町遺跡	H28.6.18
H29.3.7	松阪市教育委員会教育長	土師器、陶器、磁器	21	松阪市魚町	松坂城下町遺跡	H28.6.18
H29.3.7	松阪市教育委員会教育長	瓦、陶器、磁器	32	松阪市殿町	松坂城跡	H28.6.18

### 3 国・県指定文化財に関する諸届等

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までに申請等が行われた指定文化財に関する現状変更等の諸届の状況は下記のとおりである。なお、すでに許可を得ている現状変更に関する期間変更のみの申請及び所在場所変更のうち元の場所に復する場合の届は含んでいない。

#### (1) 国指定文化財

##### ① 重要文化財

文化財名称	種別	現状変更		き損	修理	所有者変更	所在場所変更	合計
		国	県・市許可					
旧松坂御城番長屋 東棟・西棟	建造物		1		3	1 (所有者名称変更)		5
旧賓日館本館ほか 2 棟	建造物				1			1
旧長谷川家住宅	建造物				1			1
旧諸戸家住宅 洋館・和館	建造物			2				2
諸戸家住宅主屋ほか 5 棟	建造物			1				1
専修寺御影堂ほか (防災施設)	建造物			1				1
太刀 無名 (伝国俊)	工芸品					1 (所有者名称変更)		1
太刀 (影光銘)	工芸品					1		1
木造如来坐像 (頭部快慶作) (新大仏寺所有)	彫刻			1				1
合計		0	1	5	5	3	0	14

##### ② 民俗文化財

該当なし。

##### ③ 史跡・名勝

文化財名称	種別	現状変更		滅失・き損	復旧	合計
		国	県・市許可			
久留倍官衙遺跡	史跡	1				1
伊勢国分寺跡	史跡	1				1
谷川土清旧宅	史跡				1	1
多気北畠氏城館跡	史跡			1		1
松坂城跡	史跡	2		1		3
斎宮跡	史跡	21		32		53
水池土器製作遺跡	史跡			1		1
旧豊宮崎文庫	史跡	1				1
旧林崎文庫	史跡				1	1
赤木城跡及び田平子峠刑場跡	史跡				1	1
熊野参詣道	史跡	4		3		7
上野城跡	史跡			6		6

文化財名称	種別	現状変更		滅失・き損	復旧	合計
		国	県・市許可			
旧崇広堂	史跡	2	2	1		5
旧諸戸氏庭園	名勝		1			1
諸戸氏庭園	名勝	1	1	1		3
北畠氏館跡庭園 多気北畠氏城館跡	名勝・史跡		2			2
三多気の桜	名勝	2				2
二見浦	名勝	2				2
城之越遺跡	名勝・史跡		1			1
合計		37	51	5		93

④ 天然記念物

文化財名称	現状変更		滅失・き損	復旧	合計
	国	県・市許可			
カモシカ	2				2
オオサンショウウオ	12	4	3		19
ネコギギ	16	5	1		22
九木神社樹叢			1		1
ヤマネ	2	2			4
須賀利大池及び小池	1	1			2
多度のイヌナシ自生地	1		1		2
西阿倉川アイナシ自生地	2				2
中村川ネコギギ生息地	1				1
熊野の鬼ヶ城 附 獅子巖		1			1
田光のシデコブシ及び湿地植物群落	1				1
御池沼沢植物群落		1			1
合計	38	14	6		58

(2) 県指定文化財

① 有形文化財

文化財名称	種別	現状変更	き損	修理	所有者変更	所在場所変更	合計
本竜寺本堂	建造物			1			1
神宮祭主職舎 (旧慶光院) 勝手所・表門	建造物			1			1
旧諸戸家住宅 (六華苑) 一番蔵ほか5棟	建造物		1				1
御城番屋敷 土蔵	建造物				1 (所有者名称変更)		1
銅鐸 (菟上耳利神社所有)	考古資料					1	1
絹本着色真源大沢禪師像	絵画					1	1
絹本着色禪源大済禪師像	絵画					1	1
絹本着色仏涅槃図	絵画					1	1
紙本墨書大般若経 120 帖	書跡					1	1
上野天神祭山車金具	工芸品					1	1
上野天神祭供奉面 (上野相生町)	彫刻					1	1
上野天神祭供奉面 (上野紺屋町)	彫刻					1	1
上野天神祭供奉面 (上野三ノ西町)	彫刻					1	1
酒井家文書	古文書					1	1
御墓山窯跡出土宮殿形陶製品	考古資料					1	1
合計			1	2	1	11	15

② 民俗文化財

文化財名称	種別	現状変更	き損	修理	所有者変更	所在場所変更	合計
八鬼山町石及び関連石仏	有形民俗				1 (管理責任選任)		1
諸手船	有形民俗	2	3	4			9
紙漉き用具一式	有形民俗					1	1
賀多神社能舞台(組立式)一 式	有形民俗					1	1
三重県水産図解	有形民俗				1 (管理責任選任)	2	3
三重県水産図説	有形民俗				1 (管理責任選任)		1
春日神社雨乞願解大絵馬 附相撲番付板	有形民俗					1	1
参宮講看板 附たわらや看板	有形民俗					1	1
合計		2	3	4	3	6	18

③ 史跡・名勝

文化財名称	種別	現状変更		滅失 き損	復旧	所有者 変更	合計
		県	市許可				
松平定綱及一統之墓所	史跡			1			1
縄生廃寺跡	史跡	1					1
有節萬古窯跡	史跡					1	1
橋守部生誕地遺跡	史跡					1	1
大日堂の五百羅漢	史跡	1					1
日永の追分	史跡	1					1
教倫堂跡	史跡					1 (管理責任選任)	1
津城跡	史跡		3				3
大河内城跡	史跡		1				1
鳥羽城跡	史跡	1					1
田丸城跡	史跡	3					3
浜島古墳	史跡		1				1
名張藤堂家邸跡	史跡	1		1			2
長谷川氏旧宅	史跡及び名勝	1					1
瑞巖寺庭園	名勝	1					1
宮川堤	名勝	2					2
合計		13	5	2		3	22

④ 天然記念物

文化財名称	現状変更		滅失 き損	復旧	所有者 変更	合計
	県	市許可				
嘉例川ヒメタイコウチ生息地	1					1
篠立の風穴	1					1
きりしまみどりしじみ	1					1
長太の大楠	1					1
柳谷の貝石山	1					1
小川郷の火打石					2 (所有者変更・ 管理団体指定)	2
ジュロウカンアオイ自生地		1				1
逆柳の甌穴	1					1
合計	6	1			2	9

## 4 文化財の公開・普及

### (1) 文化財関係の表彰

該当なし

### (2) 三重県文化財講習会（第 34 回）

文化財保護に関する知識と技能等の研修を行い、資質の向上を図るとともに、文化財の保存と活用の強化に資するため、文化財保護に携わっている文化財所有者、管理者、三重県文化財保護指導委員、市町文化財保護関係委員、文化財保護行政担当者等を対象として年 1 回、三重県指定文化財等所有者連絡協議会と共催で講習会を行っている。

日 時	平成 29 年 2 月 7 日 (火)	場 所	三重県総合博物館	参 加 者	60 名
テ ー マ	『無形文化財の未来～記録作成とその活用～』				
内 容	講 演 「無形民俗文化財の調査と記録作成～奈良県での取り組み～」 奈良県教育委員会 文化財保存課 森本 仙介 「無形民俗文化財の記録作成とその活用～和歌山県の取り組み～」 和歌山県教育庁 文化遺産課 蘇理 剛志 パネルディスカッション 「無形民俗文化財の未来～記録作成と活用～」 パネラー：講演者 コーディネーター 社会教育・文化財保護課 竹田 憲治 展示見学 三重県総合博物館 交流展示「すばらしい三重の文化財Ⅱ」				

### (3) 第 58 回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会

近畿・東海・北陸ブロック 12 府県内に伝承されている民俗芸能のうち、無形民俗文化財に指定されるなど、価値が高いものについて特別公開し、各保存団体の伝承活動の活性化をはかるとともに、伝統文化への関心を広く高めることを目的とする。

日 時	平成 28 年 9 月 2 5 日 (日)
場 所	加賀市文化会館 (石川県加賀市)
出 演 演 目	宮路集落獅子舞い (富山県)、山中節・加賀松任の獅子舞 (石川県)、田峯念仏踊 (愛知県)、朝日豊年太鼓踊 (滋賀県)、宗福寺の双盤念仏(送り鉦) (大阪府)、篠原おどり (奈良県)

### (4) 文化財保護強調週間行事

○文化財保護強調週間 (平成 28 年 11 月 1 日～7 日) 及び近接期間の行事实施状況

	県	市	町	合計
指定文化財公開事業・文化財ウォーク等 (文化財を見て歩こう！)	1	4	2	7
実演・発表会・体験教室・シンポジウム等 (本物を見て、聞いて、体験する！参加する！)	11	12	4	27
特別展・企画展 (博物館・美術館に行こう！)	3	12	3	18
その他のイベント (コンサート・文化財愛護表彰・文化祭等)	4	-	2	6
合計	19	28	11	58

(5) 文化財防火デー

○関連防火運動実施状況（平成 29 年 1 月 26 日以外に実施したものも含む）

	防災訓練	消防設備点検	防災指導	広報活動等
県	2	2	2	2
市	12	13	13	26
町	5	9	8	12
計	19	24	23	40

(6) 文化財保護の組織（平成 28 年 4 月 1 日現在）

社会教育・文化財保護課 参事兼課長 辻 善典

有形文化財班

班長 伊藤 裕偉  
主幹（班長代理） 鈴木 昭子  
主幹 木本 武視  
主査 角正 淳子  
主任 川部 浩司

記念物・民俗文化財班

班長 竹田 憲治  
主幹（班長代理） 小濱 学  
主幹 西村 美幸  
主査 新名 強  
主査 藤原 良幸  
主任 櫻井 拓馬

	<p style="text-align: center;"><b>三重県の文化財保護</b> 平成 28 年度 発行 平成 30 年 3 月 編集 三重県教育委員会</p>

# 三重県内 国・県指定文化財等文化財数

平成 29 年 3 月 31 日現在

種別		国	県	計
(有形文化財) 重要文化財	建造物	25	43	68
	絵画	19	43	62
	彫刻	67	112	179
	工芸品	18	60	78
	書跡・典籍・古文書（内、国宝文書 3）	45	56	101
	考古資料(内、国宝 1)	10	30	40
	歴史資料	4	10	14
	<b>小計</b>	<b>188</b>	<b>354</b>	<b>542</b>
文化財 無形	工芸技術	1	1	2
	芸能	0	1	1
	<b>小計</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>
文化財 民俗	無形民俗文化財	9	36	45
	有形民俗文化財	1	25	26
	<b>小計</b>	<b>10</b>	<b>61</b>	<b>71</b>
記念物	特別史跡	1	－	1
	特別天然記念物	2	－	2
	特別名勝及び天然記念物	1	－	1
	史跡	36	71	107
	史跡及び名勝	0	3	3
	史跡及び天然記念物	0	0	0
	名勝	6	8	14
	名勝及び史跡	1	0	1
	名勝及び天然記念物	0	1	1
	天然記念物（地域を定めず）	15	4	19
	天然記念物	21	78	99
	天然記念物及び名勝	1	1	2
	<b>小計</b>	<b>84</b>	<b>166</b>	<b>250</b>
伝統的建造物群保存地区（選定）		1	－	1
文化財の保存技術（選定）		0	0	0
記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（選択）		15	11	26
重要文化的景観（選定）		0	0	0
登録有形文化財		229	－	229
登録有形民俗文化財		1	－	1
登録記念物		1	－	1
<b>小計</b>		<b>247</b>	<b>11</b>	<b>258</b>
<b>総計</b>		<b>530</b>	<b>594</b>	<b>1124</b>
ふるさと文化財の森		4		4